



SEA-DOO®



オペレーターズガイド


セーフティビークルおよび
メンテナンス情報を含みます


3D® DI



このガイドをよく読んでください。
安全に関する重要な情報が載せられています。
船体からこの「オペレーターガイド」を持ち出さないでください

この『オペレーターズガイド』では、以下の記号を使用して特別な内容を示しています：

 安全喚起記号は、人がけがをする恐れがあることを示します。

 **警告** 指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注意: 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの構成部品に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

注記: 指示内容を完全に実行するために必要な補足情報を示します。

警告

お客様の安全のため、この『オペレーターズガイド』や『セーフティビデオカセット』、製品に添付されたラベルに示された安全に関する注意や指示についてはその内容を十分に理解し、これに従うようにしてください。指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあります。

この『オペレーターズガイド』は、防水バッグに入れて常にウォータークラフトとともに保管してください。

『オペレーターズガイド』を閲覧したり、余分に印刷する場合は、次のウェブサイトへアクセスしてください。 www.operatorsguide.brp.com またガイドは複数の言語で利用できます。

この『オペレーターズガイド』と『セーフティ・ビデオカセット』は、ポートを売却する際も一緒にお渡しください。



「ナイツプレーナイン」[†]は、Korkay System GTX[†]は、Castrol Ltd. の商標です。許諾のもとに使用されています。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc またはその子会社に帰属します：

XP-STM ミネラルインジェクションオイル	GTITM	Sea-Doo LKTM
XP-STM 合成 2-ストロークオイル	O.P.A.S.TM	XP®
Sea-Doo 化学合成グリース	RotaxTM	4-TECTM
DESSTM	RFITM	3DTM
Sea-Doo®	O.T.A.S.TM	

印刷国：カナダ (smo2006-003 en DR)

®TM、およびBRPのロゴは、Bombardier Recreational Products Inc.、またはその関連会社の商標です。

©2006 Bombardier Recreational Products Inc. and BRP US Inc. 無断複写転載を禁じます。

* は、Bombardier Inc. の商標であること、同社の許可の下に使用されていることを示します。

はじめに

『オペレーターズガイド』は、このパーソナル・ウォータークラフトとそのさまざまな操作、メンテナンス、そして安全なライディングのための注意事項について、オーナー/オペレーターの方によく知っていただくために作成されています。これらはいずれも製品を正しく使用するために必要不可欠なものです。防水性の袋に入れて、いつでもウォータークラフトに搭載してください。

『オペレーターズガイド』を必ず読んで、その内容に精通してください。

製品保証とその適用に関する疑問点は、このガイドの「保証」のセクションを参照するか、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。

米国の製品代理店は、BRP US Inc. です。カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. です(まとめて“BRP”と呼びます)。

このガイドに含まれる情報およびコンポーネント/システムの記述は、執筆の時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。

製品の品質向上と技術革新の絶えざる努力のため、BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

この文書に含まれる図版は、何種類かの異なるアッセンブリーの代表的な構造を示し、特定の部品の細部または正確な形状を表現していない場合があります。しかし、それらは同様または類似の機能を持つ部品を代表しています。

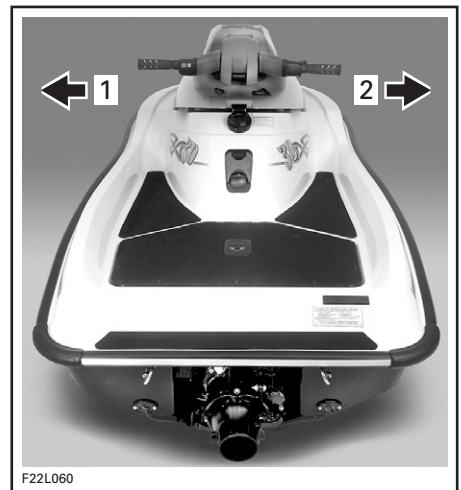
このガイドは他言語に翻訳される可能性があります。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

仕様の数値は SI メートル法で示され、括弧内に SAE の U.S. 単位系に換算した値を併記します。特に精度が要求されない個所では、実用上の利便性を優先して換算値の端数を四捨五入している場合があります。

完全な整備とメンテナンスに関する情報、および修理に関するより詳しい情報をご希望の方には、別途『シヨップマニュアル』をご用意しています。

本文で示される左(左舷)と右(右舷)は、つねにドライビングポジション(ウォータークラフトに正しく着座した状態)を基準にしています。

また、船舶業界の慣行により船体前部はバウ、船体後部はスターンと呼んでいます。



1. 左(左舷)
2. 右(右舷)

目次

安全に関する情報

はじめに	8
セーフティーチェックリスト	9
一般的注意	9
ライディング	11
着用品	11
ヘルメット	13
携行品	13
準備	14
操縦	15
衝突回避	15
安全なライディング	15
オペレーター / 同乗者が注意すべきこと	16
ウォータークラフトの操縦性	16
運航ルール	17
道路交通との比較	17
ウェブサイト	18
重要なラベルの位置	20

ボートについての情報

登録番号の位置	28
識別番号	29
船体 (ハル)	29
エンジン	29
操縦装置、各コンポーネントと計器類	30
操縦装置、各コンポーネントと計器類の機能	33
1) セーフティランヤード (エンジンカットオフコード)	33
2) ハンドルバー	35
3) ハンドルバーアジャスタ	35
4) スロットルレバー	36
5) エンジンスタート / ストップボタン	36
6) インジケーターランプクラスタ	37
7) ステアリングポール	37
8) 燃料タンクキャップ	38
9) エンジンカバーラッチ	38
10) インジェクションオイルリザーバーキャップ	41
11) エアインテーク開口部	41
12) バウおよびスターンアイレット	41
13) ボーディングパッド	42
14) リアプラットホーム	42

15) 冷却システムのブリードアウトレット	42
16) フラッシングコネクター.....	42
17) ビルジドレンプラグ.....	42
18) ジェットポンプノズル	43
19) VTS アジャスタ(装備されている場合).....	43
20) ジェットポンプウォーターインテーク	43
21) ヒューズ	44
22) バッテリー.....	44
23) リアアクセスカバー.....	44
24) 自動ビルジポンプ	44
25) “モト” シートリリースボタン.....	44
26) “モト” シートポストレシーバー	48
27) “モト” シートポストリリースレバー	48
28) カートシートレバー(装備されている場合).....	48
29) ステアリングポールリテイナー (装備されている場合).....	50
燃料、オイル、クーラント	51
給油の手順.....	51
推奨燃料.....	51
推奨オイル.....	52
オイルインジェクションシステム	52
慣らし運転期間.....	54
10 時間点検.....	54
使用前の点検	55
船体 (ハル)	56
ジェットポンプウォーターインテーク	56
ビルジ.....	56
冷却システムの冷却水(気温が氷点下またはそれに近い場合のみ).....	56
バッテリー.....	57
燃料タンクとオイルリザーバー	57
エンジンコンパートメント	57
ステアリングシステム	57
ステアリングポール.....	57
スロットルシステム.....	57
VTS (可変トリムシステム) (装備されている場合)	57
セイフティランヤードとエンジンスタート / ストップボタン	58
オプションのモード.....	58
使用上の諸注意.....	59
作動原理.....	59
ウォータークラフトへの乗船	62
エンジンの始動.....	65
ライディング	65
波の荒いときや視界の悪いときの航行	67
波を横切るとき.....	67
停止 / ドック入れ.....	67
浜辺に乗り上げるとき	68
エンジンの停止.....	68

使用後のお手入れ	69
船体の手入れ	69
泥水や塩水で使用了した場合の手入れ	69
冷却システムのフラッシングとエンジン内部の潤滑	69
防蝕処理	71
特殊な手順	72
応急帰還モード	72
エンジンのオーバーヒート	72
ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃	72
ウォータークラフトが転覆したとき	73
ウォータークラフトが水没したとき	74
エンジン内に水を吸い込んだとき	74
プラグがかぶってしまったとき	75
燃料切れ	75
水上でのウォータークラフトの曳航	75
バッテリーの電圧低下	76

メンテナンス

エンジンの排出ガスに関する情報	78
一般的注意	79
メンテナンスチャート	80
定期点検	80
メンテナンス	84
潤滑	84
スロットルケーブルの点検	85
燃料噴射システム	85
燃料フィルターとオイルフィルター	85
ステアリングアライメント	85
ステアリングボール	85
ハンドルバーとアジャスタの作動	86
“モト”シート	86
カートシート (装備されている場合)	87
O.T.A.S. TM システム	87
VTS の調整	87
ビルジドレンプラグ	88
ヒューズ	88
全体の点検と清掃	89
トレーラーでの運搬、保管、シーズン前の準備	92
トレーラーでの運搬	92
保管	93
シーズン前の準備	97
シーズン前の準備チャート	98

トラブルシューティング	100
仕様	106
このマニュアルで使われている略語	109

保証

BRP 北米限定保証: 2006 SEA-DOO® 3D™ DI パーソナルウォータークラフト	113
SEA-DOO® 3D™ DI パーソナル・ウォータークラフト 2006年モデルに対する カリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定。	117
BRP 国際限定保証: 2006 SEA-DOO® 3D™ DI パーソナルウォータークラフト	121
プライバシー保護に関する情報	124

安全に関する情報

はじめに

この度は、Sea-Doo パーソナルウォータークラフトをお買い上げいただき、ありがとうございます。Sea-Doo は最も人気の高いウォータークラフトのひとつです。Sea-Doo® パーソナルウォータークラフト (PWC) は、自然の美しさに触れながら、世界中の水辺で刺激的な体験を楽しむ機会を皆様様に提供します。水上のレジャーを存分にお楽しみください。

しかし、この新たな喜びと自由には、お客様ご自身、お客様のウォータークラフトと一緒にご利用になる方々、第三者の安全に対する責任も伴います。ウォータークラフトをご利用になる場合は安全に関する指示に必ず従い、十分な注意をお払いください。また、ウォータークラフトを使用する場合は、そのコントロール方法と操作方法を完全に理解し、節度を保つた責任あるライディングをしなければなりません。オペレーターには第三者の安全を確保する責任があります。

この安全のセクションには、お客様が初めてご覧になる内容も含まれていますが、そのほかはごく常識的なものです。しかし、これらはウォータークラフトを安全に楽しむためにはいづれも重要な項目です。わずかな時間でも十分ですので、是非ともこの安全のセクションをよくお読みください。これらの情報を読んだだけですべての危険を回避できるわけではありませんが、その指示とところを理解して応用すれば、ウォータークラフトを正しく使用する助けとなります。

このセクションの指示内容に従わない場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあります。

この安全のセクションは、ウォータークラフトを初めてご利用になる方の参考用として作成したものであり、その内容はごく限られています。ご利用にあたっては、『オペレーターズガイド』、『セーフティビデオ』、製品に貼付された警告/注意ラベルも合わせてご覧ください。"航行準備当局、モーターボート団体、その他の地域のボート協会から入手することも強く推奨いたします。

多くの国や地域では、船舶利用の安全と免許に関する規則が定められています。ウォータークラフトをご利用になる場合は、安全と免許に関する講習を受けられることを強くお勧めします。コースの有無については、最寄りの湾岸警備当局またはパワースイール愛好者団体までお問い合わせください。

船舶利用の安全に関する情報は、この安全のセクション最後に記載されている航行安全/規制ウェブサイトから入手できます。

船舶に関する規制は時々改正されまします。ウォータークラフトをご利用になる場合は、その都度適用法規をご確認ください。

また同時に、ウォータークラフトの年次安全点検の実施もお勧めします。詳細については最寄りのディーラーまでご連絡ください。

定期メンテナンスや安全メンテナンス、アクセサリーをご希望の場合は、ぜひ最寄りのディーラーへ定期的にお立ち寄りください。

楽しく安全にウォータークラフトをお楽しみいただけるようお祈りいたします。

低速航行水域に関する規則、およびその水域を利用する他の人々や環境には十分な注意を払ってください。ウォータークラフト利用者は、「船長」およびウォータークラフトのオーナーとして、自身の航跡による他者への損害に責任を持たなければなりません。ウォータークラフト上からは、いかなる物も投棄しないでください。

また、緊急時には他の人々を救助する義務があります。

ライディング

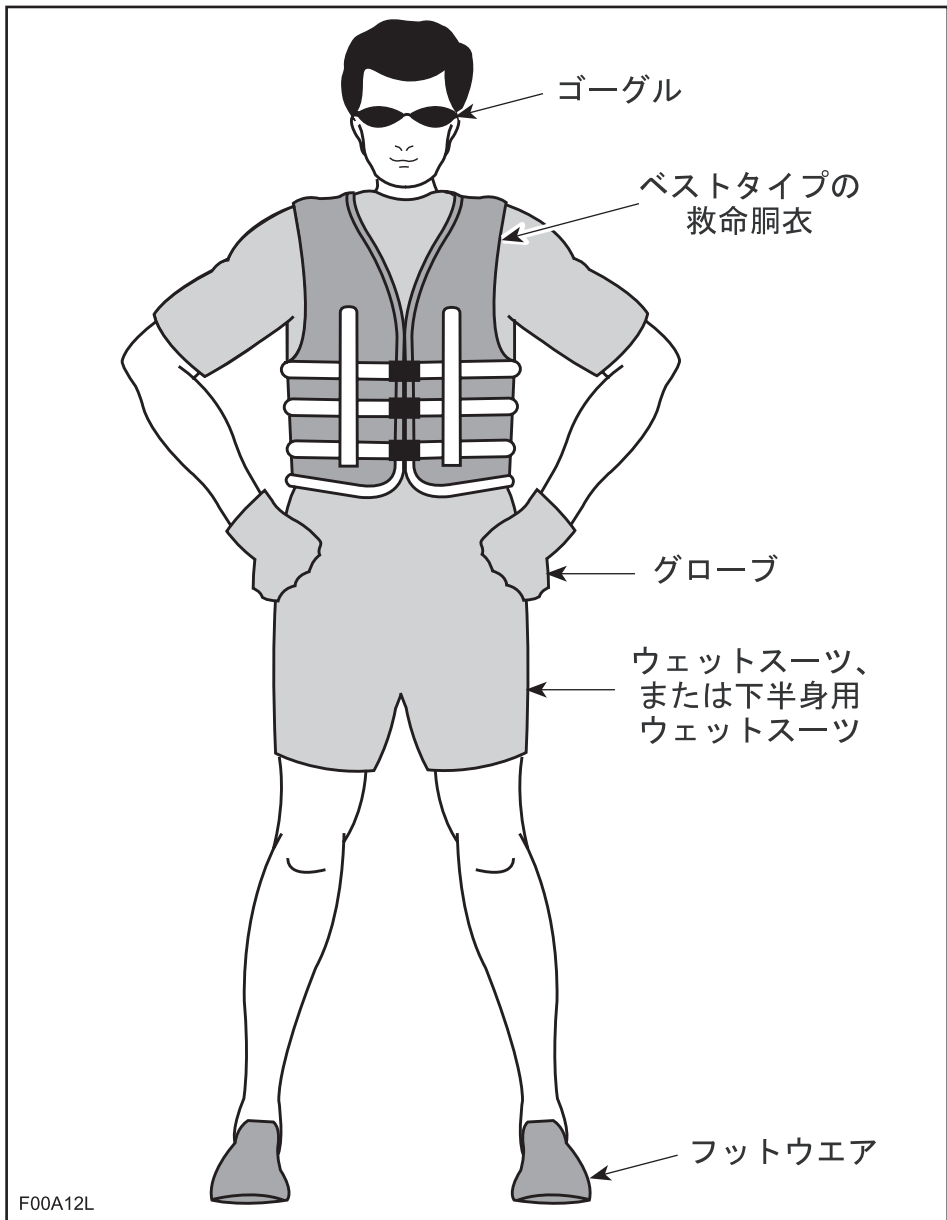
着用品

オペレーターには、PWC使用に適した日本小型船舶検査機構（JCI）認定のパーソナルフローティングデバイス（PFD）着用が義務付けられています。（日本国内に限る）

オペレーターは、ライディングコンディションや個人の好みに合わせて、レンズが割れても飛散しないシャッターブルーのメガネを使用できるようにしておく必要があります。風や水の飛沫、高速走行などによって水が目に入り、視界がぼやけてしまうことがあるからです。

PWCのオペレーターは、体を保護できる服を着用してください。これには以下のようなものが含まれます：

- ウェットスーツボトム、あるいは織り目が細かく体に合った服で、これと同等の保護効果の期待できるもの。たとえば、自転車用の薄手のシヨーツなどは不向きです。落水やジェットスラストノズルに近づくことによって体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与え、恐れがあります。通常の水着では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。
- 靴、グローブ、ゴーグル / メガネの着用をお勧めします。また、足にも軽量かつ柔軟な保護具を着用するようにしてください。これは、水中の鋭い岩などによるケガの防止に役立ちます。



ヘルメット

重要な注意点

ヘルメットは、頭部への衝撃を緩和できるように設計されています。ほとんどのモータースポーツにおいては、ヘルメットの着用がその欠点を補って余りあることは明らかです。しかし、パーソナルウォータークラフトなどのようなモーターウォータースポーツの場合、水上であることに伴う特別なリスクがあるため、このような利点は必ずしもあてはまりません。

利点

ヘルメットは、頭部が硬いものに当たった場合の衝撃緩和に役立ちます。例としては、衝突の際の相手のウォータークラフトに頭部が当たる場合が考えられます。同様に、チンガードの付いたヘルメットは、顔面、顎、歯などの負傷防止に役立ちます。

リスク

一方、ウォータークラフトから転落した場合のいくつかの状況下では、ヘルメットが“バケツ”のように水を捉えてしまい、首や脊椎に大きな力が加わる恐れがあります。これは、窒息、首や脊椎の重大な損傷や、復元不能な損傷を招き、最悪の場合は死亡事故に至ります。

また、ヘルメットが周囲の視界や聴覚を妨げたり疲労をもたらしたりすることによって、衝突の危険が増す恐れもあります。

リスクと利点の兼ね合い

ヘルメットを着用すべきか否かの判断にあたって最も望ましいのは、具体的なライディング環境や個人的経験を考慮することです。これには、交通の多い水域であるか、どのようなライディングスタイルか、といった点が含まれます。

結論

どのような選択をした場合でも、あらゆる種類のリスクを最小に抑えることはできる一方、他のリスクは増大します。したがってヘルメットを着用するかどうは、具体的な状況に基づいてその都度判断を下す必要があります。

着用することにした場合は、さらに、その状況にはどのタイプのもものが最も適しているかを判断しなければなりません。ヘルメットはDOT規格またはスネル規格を満たすものを探し、可能であればモーターウォータースポーツ用に設計されたものを選ぶようにしてください。

レース

競技自体の性質と、ウォータークラフト同士が近接しているという事実から、参加台数の多いPWC競技においてはヘルメットを着用することを勧めます。競技統括組織の定めるヘルメット要求には必ず従ってください。

携行品

法令に定められた品目は必ず携行し、ウォータークラフト上で使いやすい状態にしておいてください。詳細については国内または地域の法令を確認するか、最寄りのSea-Doo認定ディーラーまでご連絡ください。通常必要な品目には、ホイッスルなどの音響信号装置、防水懐中電灯や認定発炎筒、浮揚性のヒービングライン、アンカーとロープ*、ベイラー*、適切な消火器*などが含まれます。カナダでは、PWCへの全搭乗者がPFD着用の場合“*”を付けた品目は必要ではありません。

また、防水バッグやコンテナに携帯電話を入れておくのも有用で、遭難した場合や陸上と連絡を取る場合に使用できることがあります。

準備

使用前に、Sea-Doo PWCに貼付されている警告 / 注意ラベル、『オペレーターズガイド』、他の安全に関するすべての資料を読み、その内容を理解するとともに、『セーフティビデオ』をきちんと見てください。“△”記号は警告記号であり、従わない場合は人員の死亡を含む重大事故を招く恐れのある指示内容であることを示します。

ウォータークラフトを使用する場合は、その水域に適用される地元および国の船舶関連法令を確認してください。その地域の道路交通に関する法令も調べておく必要があります。また、その水域で使用されている航行システム（ブイや標識）についても十分に調べ、内容をよく理解しておかなければなりません。

さらに、水域自体に関する知識も必要です。海流、潮汐、早瀬、航跡や波などは、安全な運航に影響します。悪天候下でのウォータークラフト使用はお勧めできません。

安全とウォータークラフト整備の観点から、ウォータークラフトを使用する場合は、『オペレーターズガイド』に定める「始業点検」を必ず行ってください。

エンジンシャットオフコード（セーフティランヤード）は常にオペレーターのPFDにつないでおくとともに、ハンドルバーにからまないようにしてください。これにより、オペレーターが転落した場合にエンジンを自動的に停止することが可能です。また、ライディング後は、子供や他の人がエンジンを始動させてしまうことのないように、PWCからコードを外してください。セーフティランヤードをつなげていないと、オペレーターが転落してもウォータークラフトは停止しません。

操縦

衝突回避

障害物を回避しようとするときは、スロットルを離さないでください。スロットル制御にはスロットルが必要です。

他の遊泳者、ボート、障害物などにたいして見張りを常に怠らないでください。自分自身の視界が制限されたり、他の人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。

レクリエーションの権利を尊重し、他の人々の安全を確保してください。

航行や他の人との衝突は、波打つ水や波のジャンプ、波打ち際の走りを禁ずる場合があります。ウォータークラフトの操縦者は、他の人との衝突を避け、安全な距離を保つ必要があります。

このウォータークラフトは、他のボートや他の船舶と衝突する可能性があります。急旋回は避け、十分な安全距離を確保してください。

他の船舶と同様に、このPWCにもブレーキはありませぬ。停止距離は、状況によって異なります。感度を調整し、他の交通手段との衝突を避けるには、速度を維持する必要があります。

衝突を避けるには、速度を維持する必要があります。場合によっては増速する必要があります。

安全なライディング

スロットルレバーをアイドル位置に戻すと方向制御がしにくくなり、エンジンを停止すると方向制御がまったくできなくなります。方向制御にはスロットルが必要です。

自身の限界と技量の範囲内でのライディングを心がけてください。急激な操作は避け、十分な理解を怠らないでください。

常に責任と安全に留意し、常識と節度を保つてください。

ウォータークラフトは、高速走行は危険な場合があります。急激な操作は避け、十分な理解を怠らないでください。

旋回、波や航跡の通過、荒れた水面の上での走行などによってライダの体にかかる力は、特に高速の場合、足や他の部位の骨折、あるいは重傷を招く恐れがあります。急旋回は避けるようにしてください。

絶対に曲乗りやジャンプを試みないでください。重大なケガや死亡につながる可能性があります。例えば、ジャンプで飛び降りて背中を痛めたり、スタント中にウォータークラフトを操作不能になったり、ウォータークラフトが他の障害物に衝突するおそれがあります。このウォータークラフトには多くのライディングモードがありますが、ライディングポジションで常にコントロールを維持して安全を確保するため各モードでウォータークラフトの適切な使用方法に関する指示書を厳守してください。メーカが推奨していないライディングポジションによって制御不能になったり、重大な死傷事故が起きる場合があります。

水深の浅い場所では十分な注意を払い、ごく低速で走行してください。座礁や急激な停止は事故を招きます。また、水底の砂や異物がジェットポンプにより巻き上げられて後方へ飛ばされ、人や物に当たる恐れがあります。

また、PWCは夜間使用するようには設計されていません。

オペレーター / 同乗者が注意すべきこと

ウォータークラフトの近くや後方に人がいる場合は、ハンドルを切らないでください。また、ステアリング用可動部品（ノズル、リンケージ等）には人を近づけないでください。

同乗者を乗せてウォータークラフトを航行しないでください。このウォータークラフトは、(1)オペレーター1人専用です。同乗者不可です。同乗者を乗せるシートはないので、安定性がなく落水する可能性があり、重傷を負うおそれがあります。

デッキやスイムプラットフォームに人が乗った状態でエンジンを始動したり走行したりしないでください。付近の水中に人がいる場合も同様です。ジェットスラストノズルから吐き出される水や異物が人にあたると、重傷を負う恐れがあります。

エンジン始動時やウォータークラフト走行時はオペレーターもシートに正しく座り、走行中はつねにその状態を保ってください。

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、衣服のはし、PFDのストラップなどが可動部品に巻き込まれて、重傷を負ったり溺れたりする恐れがあります。

インテークグレートから海草や異物を取り外す場合は、誤ってエンジンを始動してしまうことのないよう、必ずセーフティランヤードを外してください。

日射、風、アルコール、薬品、疲労、疾病などは、判断力や反応時間に悪影響を与えることがありますので、注意が必要です。

PWC使用時は、旋回半径を小さくするために足を水中に入れないでください。

ウォータークラフトの操縦性

積載重量や定員をオーバーしないようにしてください。過積載は操縦性、安定性、性能に悪影響を与えます。

ウォータークラフトの操縦性に影響するようなアクセサリや装置は取り付けしないでください。

ドック、棧橋の付近では、注意して操縦してください。棧橋の下を航行するとき、空間を十分に確保して超低速で航行してください。

終始節度ある姿勢で運転を行うことが安全の秘訣です。

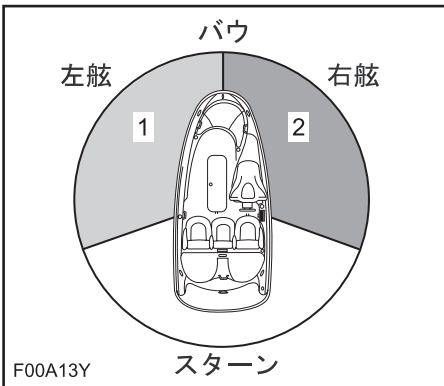
運航ルール

ウォータークラフトによる走行は、標識のない高速道路や道路上の走行に例えることができます。他の船舶との衝突の防止あるいは回避のために、運航ルールには必ず従ってください。これは単なる常識ではなく、法令で定められたものです。

道路交通との比較

進路優先権

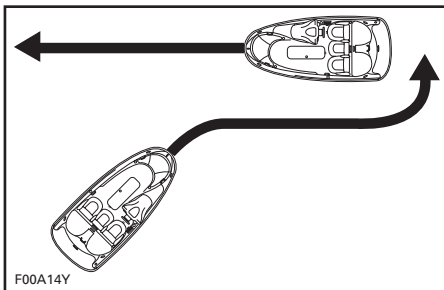
進路優先権 通常の回避は右側に行い、他の船舶、遊泳者、障害物との間に安全な距離を保ちながらこれら回避します。



1. 赤色灯
2. 緑色灯 (回避方向)

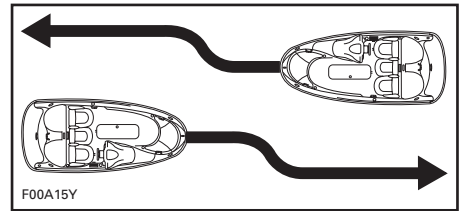
交差

前方の船舶に進路を譲って右側に回避。他船舶の前方を横切ってはけません。



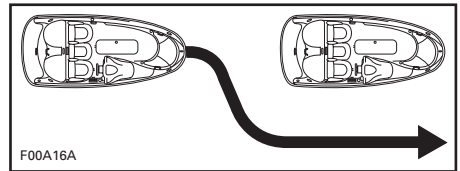
対向の場合

互いに右へ回避。



追い越し

他の船舶に進路を譲り、距離を保つ。



航行システム

標識やブイなどの航行支援設備は、安全な水路の確認に役立ちます。ブイは、そのブイの右側(右舷)を通過すべきか左側(左舷)を通過すべきかを示します。ブイは、低速航行水域や減速水域などの制限水域や制限水域に入りつつあるかどうかを示します。また、危険や特別な航行情報を示すこともあります。標識は陸上や水上に設置されています。これらの標識でも、速度制限、無動力船舶や無動力航行、停泊、その他の有効な情報を表わすことができます。(各種標識は形状である程度識別できます)。

ウォータークラフト使用水域における航行システムをよく理解しておくようにしてください。

ウェブサイト

Sea-Doo ウェブサイト: www.sea-doo.com

カナダ沿岸警備隊 (航行安全監督官庁)	www.ccg-gcc.gc.ca/obs-bsn/sbg-gsn/main_e.htm
アメリカ沿岸警備隊	www.uscgboating.org/regulations/boating_laws.htm
アラバマ	www.dcnr.state.al.us/mp/menu.htm
アラスカ	www.dnr.state.ak.us/parks/boating
アリゾナ	www.azgfd.com
アーカンソー	www.agfc.state.ar.us/
カリフォルニア	www.dbw.ca.gov
コロラド	http://parks.state.co.us/boating/
コネチカット	http://dep.state.ct.us/rec/prgactiv.htm
デラウェア	www.dnrec.state.de.us/fw/index.htm
フロリダ (淡水)	http://floridaconservation.org/law
フロリダ (海水)	www.dep.state.fl.us/law
ジョージア	www.boat-ed.com
ハワイ	www.hawaii.gov/dlnr/dbor/dbor
アイダホ	www.idahoparks.org/rec/boating.html
インディアナ	www.state.in.us/dnr/regulations
アイオワ	www.iowadnr.com/
カンザス	www.kdwp.state.ks.us/boating/boating.html
ケンタッキー	www.state.ky.us/agencies/fw/boating.htm
ルイジアナ	www.wlf.state.la.us
メイン	www.state.me.us/ifw/rv/boatinglaws2003.htm
メリーランド	www.dnr.state.md.us/boating
マサチューセッツ	www.state.ma.us/dfwele/dle/boatrvsafe.htm
ミシガン	www.boat-ed.com/mi/handbook
ミネソタ	www.dnr.state.mn.us/safety/boatwater
ミシシッピ	www.dmr.state.ms.us
ミズーリ	www.mswp.state.mo.us
モンタナ	www.fwp.state.mt.us/education/outdoorskills.asp
ネブラスカ	www.ngpc.state.ne.us/boating
ネバダ	http://www.boatnevada.org/

ニューハンプシャー	www.state.nh.us/safety/ss/links.html
ニュージャージー	www.state.nj.us/mvsv/boats.htm
ニューメキシコ	www.emnrd.state.nm.us/nmparks/pages/question/regulate/rules/nmac172.pdf
ノースカロライナ	www.ncwildlife.org/fs_index_02_regulations.htm
ノースダコタ	http://www.state.nd.us/gnf/boating/
オハイオ	www.dnr.state.oh.us/odnr/watercraft
オレゴン	www.osmb.state.or.us
ペンシルベニア	www.fish.state.pa.us
ロードアイランド	www.state.ri.us/dem/topics/boating.htm
サウスカロライナ	www.dnr.state.sc.us/etc/boating.html
サウスダコタ	www.state.sd.us/gfp/divisionwildlife/boating/index.htm
テネシー	www.state.tn.us/twra/boatmain.html
テキサス	www.tpwd.state.tx.us/boat/boat.htm
ユタ	www.stateparks.utah.gov/parks/safety.htm
バージニア	www.dgif.state.va.us/boating
ワシントン	www.parks.wa.gov/boating.asp
ウェストバージニア	www.dnr.state.wv.us/law/boating.htm
ウィスコンシン	http://www.dnr.state.wi.us/org/caer/cs/Registrations/Boats.htm
ワイオミング	http://gf.state.wy.us

注記: 記載されていない州のウェブサイトは準備中です。BRPは、記載のウェブサイト内の製品またはサービスに関して如何なる保証を表明しません。

重要なラベルの位置

あなたのウォータークラフトには次のようなラベルが貼付されています。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

ウォータークラフトを操縦する前に、これらの各ラベルを注意深く読んでください。





“モト”モード



カートシートモード (装備されている場合)

ラベル 1

警告

救命胴衣 (PFD) を着用してください。すべてのオペレーターは、当局認定のウォータークラフト操縦に適した救命胴衣を着用してください。保護ウェアの着用。落水やジェットスラストノズルに近づくことにより体腔内に水が入ると、内臓に重大な損傷を与える恐れがあります。通常の水着では、男女を問わず、高圧の水が下半身から体内へ浸入するのを十分に防ぐことはできません。すべての乗船者は、ウェットスーツボトム、あるいはこれと同等の保護効果の期待できるものを着用してください (オペレーターガイド)。靴、グローブ、ゴグル / メガネの着用をお勧めします。

関連法規を遵守してください。ウォータークラフトのご利用は16才以上に限ることをお勧めします。県/州のオペレーター年輪とトレーニング条件を守ってください。ご利用に際しては安全講習への参加をお勧めします。県、地域によっては参加が義務付けられている場合があります。また、エンジンハットオフモード (セーフティランモード) は常にオペレーターのPFDについておくとともに、ハンドルバーにからまないように



警告

クラフト (PWC) での衝突事故は、他のどのようなタイプの衝突事故よりも、死亡、重傷を引き起こす可能性が高いことを自覚してください。

衝突を避けるために：他の遊泳者、船舶、障害物、



ウォータークラフト等を常に確認してください。自分自身の視界が制限されたり、他の人から見えにくくなったりするような状態に陥らないよう、十分な注意が必要です。

運転者は安全なスピードを維持し、他の遊泳者、船舶、障害物、ウォータークラフト等から十分に距離をおいて運転してください。

- 他のPWC、船舶の後ろを追跡するような行為をしないでください。

- 他の遊泳者、サーファー、船舶等に接近し、水のスプレーを吹きかけけるような行為はしないでください。

- 急旋回または他の船舶等がこの船の挙動を読み取ることが困難となるこのような行動を避けてください。

- 水深の浅いところや確度の危険のある場所には乗り入れないでください。

衝突を避けるために早めの行動を心がけてください。このPWC及び他の船舶にはブレーキがありません。

衝突を避けるために旋回するときは、スロットルを離さないでください。旋回するにはスロットル操作が必要です。PWCを運転

する前に、スロットルとステアリングシステムに異常がないかを必ず点検してください。PWC

に関連する各地方自治体の法令、条例を遵守してください。

詳しくは「オペレーターズガイド」を参照してください。最大搭乗人数はオペレーター1人です (XXX kg / XXX lbs)。



エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、衣服のはし、PFDのストラップなどが可動部品に巻き込まれて、重傷を負ったり溺れたりする恐れがあります。

薬を服用したりアルコールを飲んだりした時は運転しないでください。

オペレーターガイドを読んで、遵守してください。

F22A01L

ラベル 2

CAUTION/注意

Use XP-S synthetic 2-stroke oil only.
See Operator's guide.

XP-S 合成 2-ストロークオイルだけを使用してください。「オペレーターズガイド」を参照してください。

F00A32Y

ラベル 3

次に関して、このボートは認定日に有効な米国沿岸警備隊安全基準を免除されています：

- 燃料システム
- 性能表示
- 安全な積載
- フローティング
- 動力換気

米国沿岸警備隊による免除付与

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
565 DE LA MONTAGNE STREET VALCOURT, QUÉBEC CANADA J0E 2L0

219902640

MADE IN MEXICO

smo2006-003-017_aen

ラベル 4

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
EMISSION CONTROL INFORMATION
 THIS ENGINE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED
 GASOLINE AND CONFORMS TO 2006 U.S. EPA & CALIFORNIA
 EMISSION REGULATIONS FOR MARINE SI ENGINES.

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
排気ガス規制に関する情報
 この船体は無鉛ガソリンでの作動が認められており、海上SIエンジンのための2006 U.S. EPA および カリフォルニア州排出規制に準拠しています。

ENGINE FAMILY	6 BCXM.7823CR	エンジンファミリ
FEL	80 g/kW-hr HC+NOx	FEL
ENGINE DISPLACEMENT	781.6 cc	排気量
EXHAUST EMISSION CONTROL SYSTEM	FI	排出ガス浄化装置
SPARK PLUG TYPE	NGK BR8ES	スパークプラグタイプ
SPARK PLUG GAP	0.027in/0.6-0.8 mm	スパークプラグギャップ
POWER	82 kW	出力

SEE OPERATORS GUIDE FOR MAINTENANCE SPECIFICATIONS.

メンテナンス仕様の詳細については、オペレータガイドを参照してください。

219902990A

smo2006-003-018_a

ラベル 5

▲ WARNING / 警告

**DO NOT CHARGE OR BOOST THE BATTERY WHILE
 INSTALLED ON THE WATERCRAFT**

219902201

バッテリーを取り付けたままで充電しないでください。

F00A23Y

ラベル 6

<p>▲ WARNING / 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> Gasoline vapors may cause fires or explosions. Do not overfill fuel tank. Keep the craft away from open flames and sparks. Do not start watercraft if liquid gasoline or vapors are present. Always replace engine cover before starting. <p>● ガソリン蒸気により、火災または爆発が生じるおそれがあります。</p> <p>● 燃料タンクに入れすぎないようにしてください。</p> <p>● 船舶に裸火や電気スパークを近づけないでください。</p> <p>● ガソリンが漏れていた、ガソリン蒸気が発生している場合、ウォータークラフトを始動しないでください。</p> <p>● 必ず、エンジンを始動する前にシート(またはエンジンカバー)を交換してください。</p>	<p>▲ WARNING / 警告</p> <p>Avoid loss of control and collisions! BEFORE INSTALLING OR STOWING SEATS OR ACCESSORIES :</p> <ol style="list-style-type: none"> STOP THE CRAFT IN A SAFE AREA away from traffic or obstacles. TURN OFF ENGINE. BE ON THE LOOK-OUT for other crafts or obstacles. Your craft may drift while changing configuration. <p>制御不能や衝突を避けてください。</p> <p>シートやアクセサリの取り付けや格納の前に:</p> <ol style="list-style-type: none"> 他の交通や障害物のない安全な場所にウォータークラフトを止めます。 エンジンを止めます。 他の船舶や障害物に対する注意を怠らないでください。モードを変えている間に、あなたのウォータークラフトが流されているかもしれません。
---	---

F22A03L

ラベル 7

<p>▲ WARNING</p> <p>Certain components in the engine may be very hot. Direct contact may result in skin burn.</p>	<p>▲ 警告</p> <p>エンジンコンパートメント内の一部のコンポーネントは非常に熱くなることがあります。直接触れると火傷する恐れがあります。</p>
---	--

F00A1AY

ラベル 9

	<p>▲ WARNING</p> <p>WHEN INSTALLING KART SEAT :</p> <ol style="list-style-type: none"> INSERT FRONT TAB properly in receptacle. LOCK IN REAR LATCH. LOCK IN HANDLERBAR POLE LATCH. <p>▲ 警告</p> <p>カートシートを取り付けるとき:</p> <ol style="list-style-type: none"> 前側のタブを取付け位置に正しく差し込みます。 リアアッダプターでロックします。 ハンドルバーのポールラッチでロックします。
--	---

F22A0CY

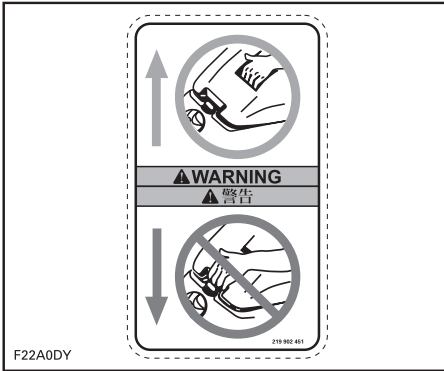
ラベル 8

	<p>▲ WARNING</p> <p>To avoid loss of control or ejection: ALWAYS INSERT KNUCKLE FULLY INTO SOCKET AND LOCK-IN</p> <p>▲ 必ず注意 必ず</p> <p>制御不能や落水を避けるために、必ずナックルをソケットの奥まで挿入してロックします。</p>
--	---

F22A0BY

装備されている場合

ラベル 10



ラベル 11



ラベル 12



ボートについての情報

登録番号の位置

連邦法の規定により、すべてのパーソナルウォータークラフトは登録されなければならない。法定登録番号を表示しなければなりません。

登録番号を正しく表示できるスペースは限られています。適切な位置については下図を参照してください。登録番号はウォータークラフトの両側面に表示してください。



1. 登録番号の位置

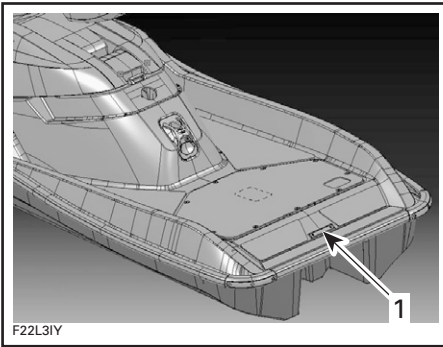
注記: 登録番号は喫水線より上でなければなりません。また、番号は正しい大きさと色で表示してください。各地域で適用される規則を確認してください。

識別番号

ウォータークラフトの主要な構成要素（エンジンと船体）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、盗まれたウォータークラフトを探するときなどに、これらの番号を確認する必要があります。

船体（ハル）

船体識別番号（H.I.N.）は、ウォータークラフト後部のプラットフォームの上にあります。



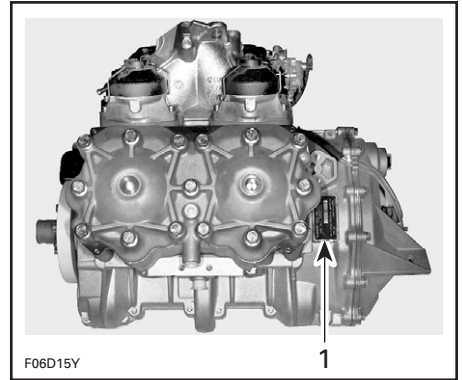
1. 船体識別番号

これは12桁の数字で構成されています：

YDV	12345	L	4	95	
				年式	
				製造年	
				製造月	
				製造番号 (数字の代わりにアルファベットが使われることもあります)	
				製造者	

エンジン

エンジン識別番号（E.I.N.）はPTO（パワーテイクオフ）側クランクケース上にあります。



1. エンジン識別番号 (E.I.N.)

操縦装置、各コンポーネントと計器類

注記: 一部のモデルでは該当しないコンポーネントや、オプション装備となるコンポーネントがあります。



F22L07M

“パート”モード



“モト”モード



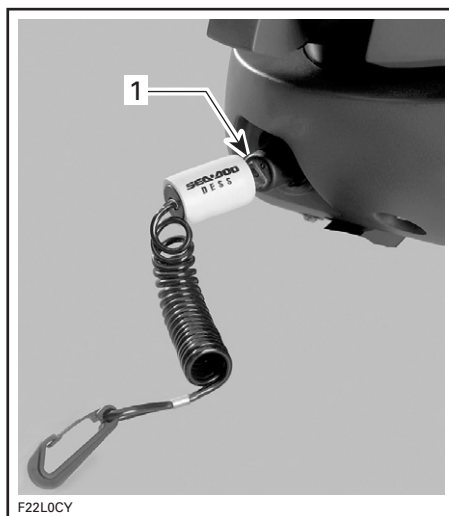
カートモード (装備されている場合)

1. セイフティランヤード (エンジン
カットオフコード)
2. ハンドルバー
3. ハンドルバーアジャスタ
4. スロットルレバー
5. エンジンスタート / ストップボ
タン
6. インジケーターランプクラスタ
7. ステアリングボール
8. 燃料タンクキャップ
9. エンジンカバーラッチ
10. インジェクションオイルリザー
バーキャップ
11. エアインテーク開口部
12. バウおよびスターンアイレット
13. ボーディングパッド
14. リアプラットフォーム
15. 冷却システムブリードアウトレ
ット
16. フラッシングコネクター
17. ビルジドレンプラグ
18. ジェットポンプノズル
19. VTS アジャスタ
20. ジェットポンプウォーターイン
テーク
21. ヒューズ
22. バッテリー
23. リアアクセスカバー
24. 自動ビルジポンプ
25. “モト”シートリリースボタン
26. “モト”シートポストレシーバー
27. “モト”シートポストリリースレ
シーバー
28. カートシートラッチ
29. ステアリングボールリテイナー

操縦装置、各コンポーネントと計器類の機能

1) セイフティランヤード (エンジンカットオフコード)

ウォータークラフトを使用するには、セイフティランヤードキャップがポストにしっかりととはめ込まれていないければなりません。



1. セイフティランヤードをポストに取り付ける

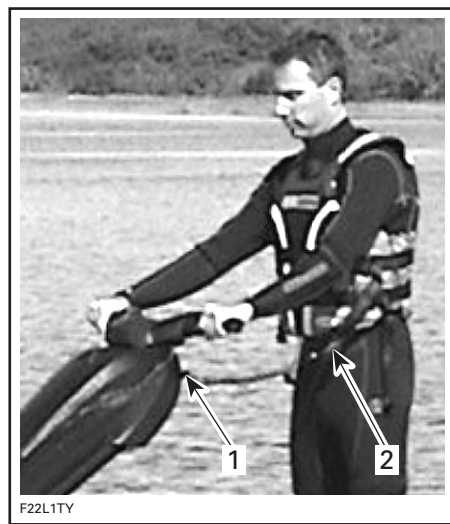
セイフティランヤードキャップをポストから引き抜くと、エンジンが停止します。

⚠ 警告

エンジンスタート/ストップボタンでもエンジンは止められますが、エンジンを停止するときはセイフティランヤードも外すよう習慣付けることをお勧めします。

セイフティランヤードの端部をオペレーターの救命胴衣に留め、キャップをポストにはめ込むと、エンジンを始動できるようになります。

短いビーブ音が2回鳴って、システムはエンジンを始動できる状態になったことを知らせます。正しくビーブ音が鳴らない場合はトラブルシューティングのセクションのコード化された信号音の部分を参照してください。



1. セイフティランヤードキャップをポストに取り付ける
2. セイフティランヤードをオペレーターの救命胴衣に留める



1. セイフティランヤードキャップをポストに取り付ける
2. セイフティランヤードをオペレーターの救命胴衣に留める

⚠ 警告

エンジンが停止すると、ウォータークラフトの進路を制御できなくなります。ウォータークラフトを使用しないときは、誤ってエンジンを始動したり、子供や他人が許可なく使用したり、盗まれたりしないように、必ずセイフティランヤードを外してください。

セイフティランヤードをポストに取り付けてから5秒以内にエンジンが始動されないと、短い4回のビープ音が3秒間隔でおよそ2時間鳴り続け、エンジンを始動するがランヤードを外すよう促します。4時間を過ぎるとビープ音は止まります。また、エンジン止め後、5秒以上経ってもセイフティランヤードがポストに取り付けられたままになっている場合も、同じようにビープ音が鳴ります。

エンジンを止めた後は、セイフティランヤードをポストに付けたままにせず、必ず外してください。

重要: エンジンが回っていない状態でセイフティランヤードを付けたまま放置すると、徐々にバッテリーが放電してしまいます。

デジタル暗号化セキュリティシステム (DESS™)

セイフティランヤードキャップには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。これが従来のキーと同じ役割をします。

したがって、このセイフティランヤードは別のウォータークラフトには使用できず、逆に別のウォータークラフトのランヤードはあなたのウォータークラフトには使用できません。

しかし、DESSは見事な柔軟性も備えています。追加のセイフティランヤードを購入すれば、それをあなたのウォータークラフト用としてプログラムすることができます。

追加のセイフティランヤードの入手方法については、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

速度制限機能

このモデルでは、特別なセイフティランヤードも使用できます。

SEA-DOO ラーニングキー™ はウォータークラフトの速度を電子的に制限するもので、初めて操縦する人や経験の浅いオペレーターが、不安を感じたりコントロールを失ったりせずにウォータークラフトの操縦方法を学べるようにします。

SEA-DOO ラーニングキー

SEA-DOO ラーニングキー™により、ウォータークラフトの速度をおおよそ55 km/h (35 MPH) までに制限します。



アジャスタを持ち上げて、そのままハンドルバーを望みの位置に移動します。ハンドルバーが所定位置のとき、アジャスタを離します。

ポジションは3つあります。後方ポジションでは人差し指を使用してスロットルを作動することが適切です。前方ポジションでは、親指がより適切です。

2つのスタート/ストップボタンがあることに留意してください。オペレーターにとってより便利なボタンを使用します。ウォータークラフト航行前に、使用方法を練習してください。

2) ハンドルバー

ハンドルバーはウォータークラフトの進行方向を制御します。ハンドルバーを右に回すとウォータークラフトは右へ旋回し、左に回すと左へ旋回します。

警告

エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルの動きが一致していることを確かめてください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング用可動部品（ノズル、リンケージ等）には人を近づけないでください。

このウォータークラフトには O.T.A.S. システム機能があります。詳細はスロットルレバーを参照してください。

3) ハンドルバーアジャスタ

警告

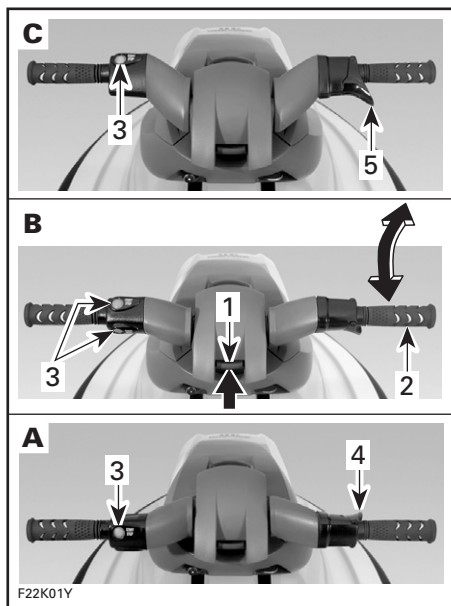
ハンドルバーを調整する前に、必ずエンジンを止めてウォータークラフトを完全停止してください。

ハンドルバーは、設定および使用されるモードに応じて、ウォータークラフト操縦時にオペレーターの好みに合わせて調整することができます。

警告

ウォータークラフト使用前に次を行ってください：

- ハンドルバーが正しく調整されて、ロックされていることを確認してください。
- エンジンスタート/ストップボタンの位置を確認して、練習してください。

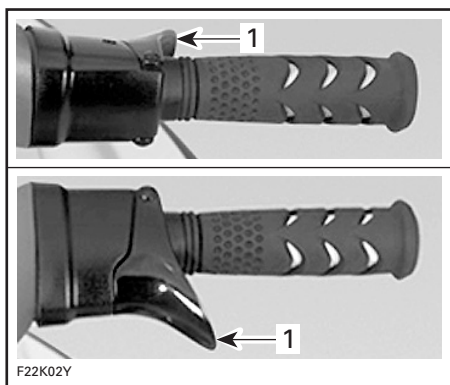


1. ハンドルバーアジャスタ
2. ハンドルバー
3. スタート/ストップボタン
4. 人差し指ポジション
5. 親指ポジション
- A. 後方ポジション
- B. 中間ポジション
- C. 前方ポジション

4) スロットルレバー

スロットルレバーを押すとウォータークラフトは加速します。レバーが完全に戻されると、エンジンは自動的にアイドリング回転数まで下がり、ウォータークラフトは水の抵抗により徐々に減速して停止します。

ハンドルバーの高さを調整すると、スロットルレバーのポジションを変更します。上記ハンドルバーアジャスタを参照してください。



1. スロットルレバー

O.T.A.S.TMシステム (オフスロットルアシステッドステアリング)

O.T.A.S. (オフスロットルアシステッドステアリング) システムは、スロットルを戻した状況でも操縦をしやすいです。ドライバーがフルターンをすると、O.T.A.S.システムが電子的に起動され、あらかじめプログラムされた回転数の範囲内でわずかにエンジンの回転数を上げます。ハンドルバーが直進の位置に戻されると、スロットルはアイドリングの状態に復帰します。

5) エンジンスタート / ストップボタン

エンジンを始動するには、スタート / ストップボタンを押してそのまま保持します。エンジンがかかったら、すぐにボタンを放してください。

エンジンを止めるには、スロットルレバーを完全に戻して、スタート / ストップボタンを押します。

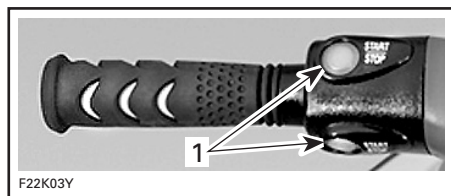
セーフティランヤードをポストから外すことを忘れないでください。



警告

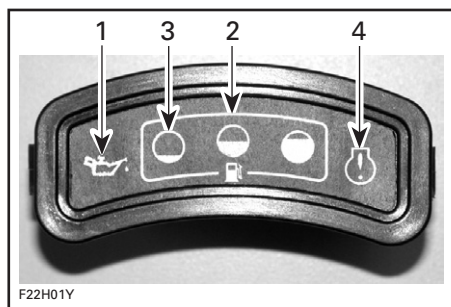
スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。

ハンドルバーの高さを調整すると、スタート/ストップボタンのポジションを変更します。上記ハンドルバーアジャスタを参照してください。



1. エンジンスタート/ストップボタン

6) インジケーターランプクラスタ



1. オイル低下警告灯
2. 燃料レベル表示
3. 燃料レベル低下表示
4. 警告灯

セイフティランヤードが取り付けられたとき、短時間すべての表示が点灯します。これにより作動が確認されます。

リザーバーのオイルレベルが低下したとき、オイル低下警告灯は必ず点灯します。

注意: エンジンの重大な損傷を防ぐため、できるだけ早くオイルリザーバーに補給します。

セイフティランヤードが取り付けられ、燃料タンクが満タンのとき、すべての燃料レベル表示が点灯し続けます。燃料レベルが低下すると、燃料残量を示すため燃料レベル表示は一度に1つ消えます。

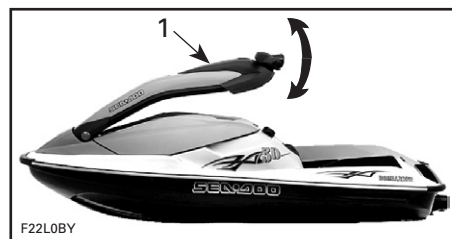
リザーバーインジケーターとして、残量約 5 L (1.3 U.S. gal.) の時点でビープ音が鳴り、レベル低下表示が点滅し続けます。残量約 3 L (.8 U.S. gal.) の時点で、表示は消えます。タンクに補給するまで、ビープ音が鳴り続けます。コード化された信号音についてはトラブルシューティングセクションを参照してください。

エンジンマネジメントシステムに問題があるときはいつでも、警告灯が点灯します。O.T.A.S.™ システムが電気ビルジポンプに問題があるときに点滅します。

注記: エンジンが作動しておらず、セイフティランヤードがポストに付いたままのとき、セイフティランヤードを取り外すまで警告灯は点灯したままです。

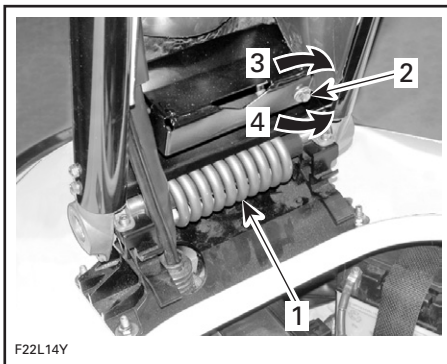
7) ステアリングポール

“パート”モードでは、さまざまなライディングポジションに合わせて操縦しながらステアリングポールを上下に動かすことができます。



1. ステアリングポール

ハンドルバーで伸縮バネの動きによって、ステアリングポールの重量は減少します。ハンドルバーで重量感を変えたいなら、その目的のための調整があります。“モト”シートを取り付けたり、取り外しをする場合、スプリングの張力を調整したいと思われるでしょう。



1. 伸縮バネ
2. 調整
3. ハンドルバーで重量を減少する
4. ハンドルバーで重量を増加する

使用前に必ずハンドルバーを希望する位置に調整してください。ハンドルバーアジャスタを参照してください。

8) 燃料タンクキャップ

燃料タンクキャップを左回りに外します。給油が終わったら、キャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気のよい場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっている場合がありますので、キャップを開けるにはゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はウォータークラフトを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ウォータークラフトを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

9) エンジンカバーラッチ

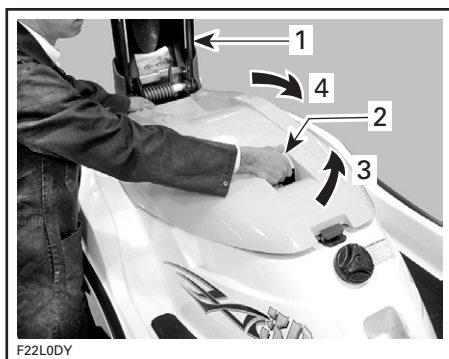
注意: ウォータークラフトが水からあがっているとき、エンジンカバーを取り外します。水上でエンジンカバーを取り外すなら、ビルジ内に水が入って、あふれ出る可能性があります。水上でストレージエリアが消火器に手を伸ばす必要がある場合、最初にエンジンを止めてください。必ず静かな水面で安定した姿勢で行ってください。ストレージエリアに手が届くのに十分なだけ、エンジンカバーを少し開けます。エンジンカバーをできるだけ早く閉じて、ラッチをかけます。

エンジンカバーを外すと、消火器ストレージエリア、ストレージトレイ、ツールキット、エンジンコンパートメントにアクセスできます。

最初にエンジンを止め、ステアリングボールを最も高い位置に上げて固定します。

ラッチレバーを上向きに引いて、エンジンカバーをロック解除します。

エンジンカバーの後部を持ち上げて、後ろ向きに引いて取り外します。

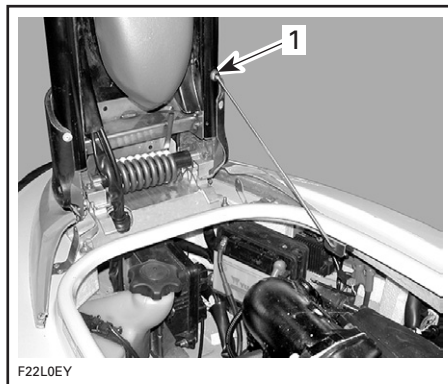


1. ステアリングポールを最高位置にする
2. エンジンカバーラッチ
3. 上向きに引く
4. カバーを持ち上げる

ステアリングポールホルダーを取り付け、ポールの落下を防ぎます。

警告

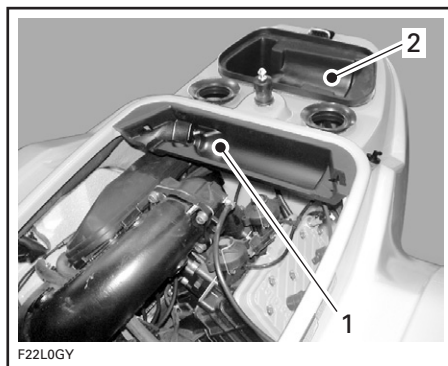
エンジンカバーを取り外した後すぐに、ステアリングポールホルダーを取り付けて、エンジンコンパートメント内で作業するときポールをしっかり支えます。そうしないとステアリングポールは突然落下し、下にいる人に当たるおそれがあります。



1. ここにホルダーを挿入する

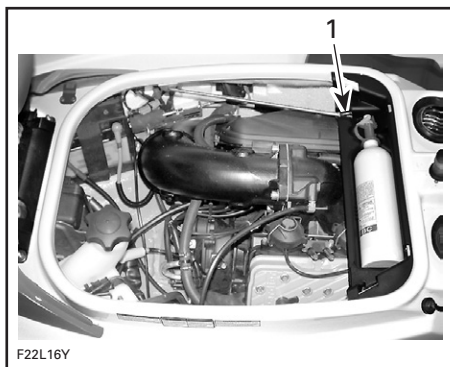
警告

エンジンコンパートメント内の部品は、高温になる場合があります。エンジンを始動するときやエンジンが回っている間は、電気系の部品に触れないでください。エンジンコンパートメントやビルジ内に何らかの物体、ウエス、工具などを入れたままにしないでください。



1. 消火器ストレージエリア
2. ストレージトレイ

終了後、ステアリングポールホルダーをロック解除して、図のように端を取り付け位置に配置します。



1. ホルダーの端をここに

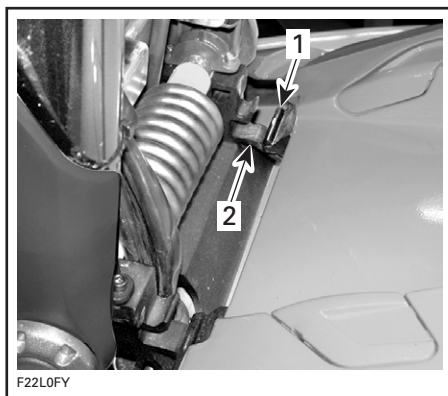
エンジンカバーを取り付ける前に、消火器が所定位置に正しく取り付けられたことを確認します。

エンジンカバーをもう一度取り付けるとき、エンジンカバーのタブを船体のCフックに正しく挿入します。

エンジンカバーラッチがかみ合うとき特有の音がします。強く引張って、エンジンカバーが固定されたことを確かめてください。エンジンカバーをなかなかラッチできない場合、消火器の位置が正しいこと、ストレージエリア内にエンジンカバーとあたるものがないことを確認してください。

⚠ 警告

エンジンカバーを取り付けるときにラッチで指を挟まないようにするたため、常にエンジンカバーのくぼみに手を入れて支えます。それはくぼみの設計目的にかない、記号で明示されています。



1. タブ
2. Cフック

必ずエンジンをラッチしてください。エンジンカバーをラッチできない場合、消火器の位置を確かめ、ストレージトレイ上の物体がエンジンカバーのラッチを妨げていないかを確認してください。

注記: エンジンカバーのロックピンの締まり具合を定期的を確認してください。必要があれば調整し、エンジンカバーのラッチが正しくかかることを確かめてください。

消火器ストレージエリア

エンジンカバーラッチの前述の図を見ると、エリアには認定消火器(別売り)を保管するエリアがあります。エンジンカバーを取り付ける前に、消火器が正しく取り付けられたことを確認します。

注意: 消火器が所定位置に正しく取り付けられたことを確認します。

ストレージトレイ

上の図を見ると、エリアは身の回り品を収納できる便利なトレイです。このトレイは、“小型船舶用安全装備キット”(別売り)を受けるように設計されています。

工具キット

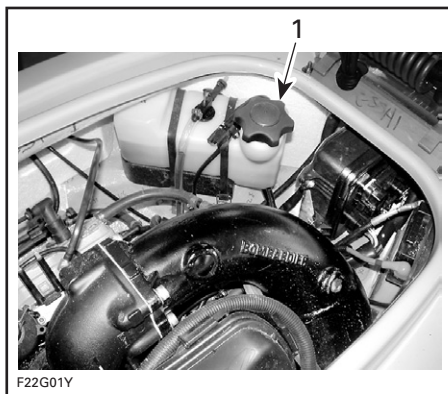
工具キットはストレージトレイ内にあります。ウォータークラフトの基本的なメンテナンスを実施するのに必要な工具が含まれています。

10) インジェクションオイルリザーバーキャップ

エンジンカバーを外して、オイルリザーバーキャップにアクセスします。ホルダーでステアリングポールをロックします。

警告

エンジンカバーを取り外した後すぐに、ステアリングポールホルダーを取り付けて、エンジンコンパートメント内で作業するときポールをしっかり支えます。



1. インジェクションオイルリザーバーキャップ

リザーバーにインジェクションオイルを補給するには、キャップを左回りに外します。燃料を入れすぎはいけません。

キャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。

警告

燃料を入れすぎではいけません。キャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。オイルは可燃性です。こぼれたオイルはビルジから必ず拭き取ってください。

ステアリングポールをロック解除して、ホルダーを固定します。

エンジンカバーをもう一度取り付けて、ラッチしてください。

11) エアインテーク開口部

換気のためここから空気がビルジに入ってエンジンに供給されます。特定の状況下では、エアインテーク開口部が水面下に潜ると、ビルジ内に水が入ってしまいます。

注意: 連続した急旋回などによってエアインテーク開口部が水面下に潜ると、ビルジ内に水が入り、エンジンの内部部品に重大な損傷を及ぼすおそれがあります。

12) バウおよびスターンアイレット

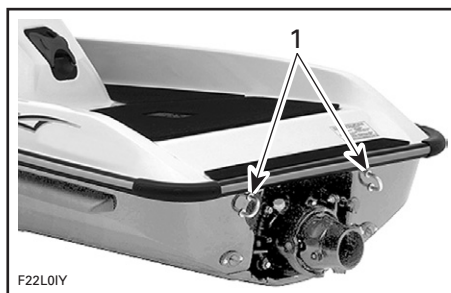
アイレットは係留、またはトレーラー輸送時の固定ポイントに使用できません。

バウアイレット



1. バウアイレット

スターンアイレット
アイレットは固定目的で使用できません。



1. スターンアイレット

13) ボーディングパッド

乗船時に膝をつくため、表面がクッション付きになっています。

14) リアプラットフォーム

“パート”モードでは、足元の面積が広がっています。表面はボートの乗り込みが楽になるように設けられています。

15) 冷却システムのブリードアウトレット



1. ブリードアウトレット

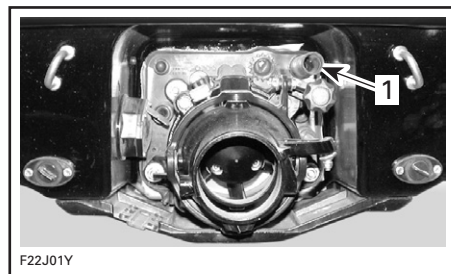
エンジンが回っているときに、水はアウトレットから出るはずですが、これによりエンジン冷却システム内の空気が逃げます。また水が冷却システム内を循環していることを確認します。

注記: 水の流出を確認するため、エンジン回転数を少し上げなければなりません。

注意: エンジンを始動してから数秒経ってもアウトレットから水が流れ出さない場合は、すぐにエンジンを止めて、使用後のお手入れの冷却システムのフラッシングを参照するか、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

16) フラッシングコネクター

冷却システムのフラッシングを行う際に、散水用ホースを簡単に取り付けられるように設けられた便利なコネクターです。



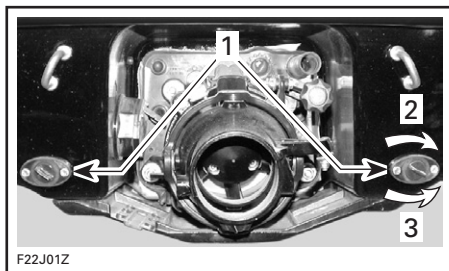
1. フラッシングコネクター

使用後のお手入れ セクションを参照してください。

17) ビルジドレンプラグ

ビルジ内に水が入ってしまった場合は、エンジンを止めてウォータークラフトを水から上げた状態でドレンプラグを緩めれば、簡単に水を抜くことができます。

注意: ドレンプラグを緩める前に、必ずウォータークラフトを水から上げてください。



F22J01Z

1. ドレンプラグ
2. 締まる
3. 緩む

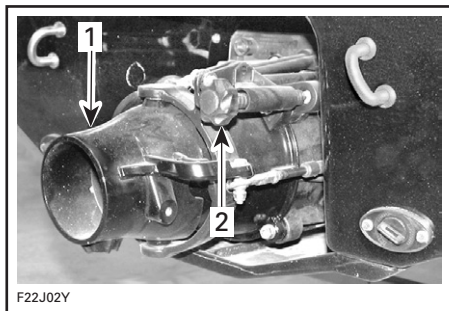
ウォータークラフトをわずかに後ろ下がりにするように傾け、水がビルジから完全に流れ出るようにします。

ウォータークラフトを傾けてビルジを排水することが推奨されています。

注意: ウォータークラフトを再び水に浮べる前に、すべてのドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

18) ジェットポンプノズル

ジェットポンプノズルはオペレーターのハンドルバーの操作によって左右に向きを変えます。エンジンが回っている間は、これによって進路を制御します。

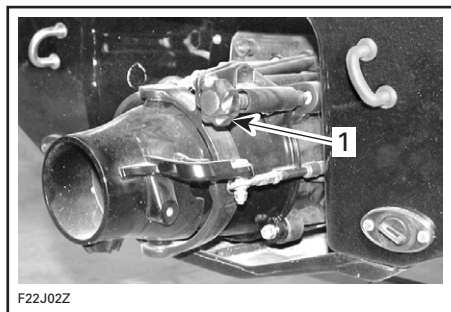


F22J02Y

1. ジェットポンプノズル
2. VTS アジャスタ

19) VTS アジャスタ (装備されている場合)

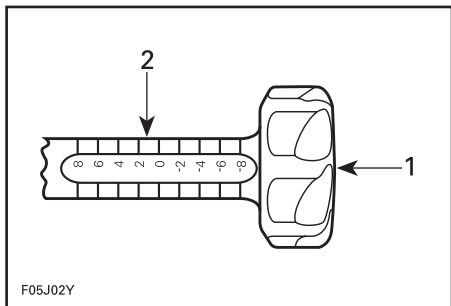
トリムノブはポンプのジェットポンプノズルのトリム角度を手動で変更し、水面の状況やオペレーターの好みに合わせて姿勢を調整するために用います。上記の図を参照してください。



F22J02Z

1. トリムノブ

ノズルの位置を示す参照番号があり、微調整が容易です。



F05J02Y

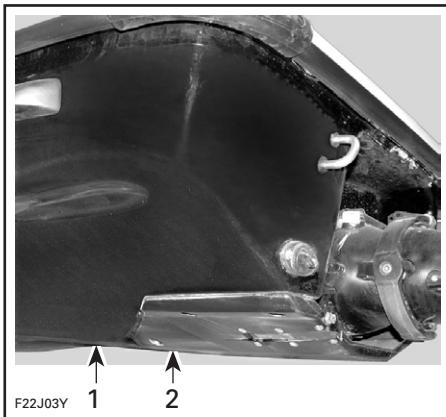
1. トリムノブ
2. 参照番号

20) ジェットポンプウォーターインテーク

水はこの開口部から入り、インペラーによって吸い込まれます。ウォーターインテークグレートは、推進システムへの異物の侵入を最小限にとどめます。

警告

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。



1. ウォーターインテーク
2. ライドプレート

21) ヒューズ

ヒューズはエンジンコンパートメント内にあります。詳細についてはメンテナンスを参照してください。

22) バッテリー

バッテリーはエンジンコンパートメント内にあります。特殊な手順を参照してください。

23) リアアクセスカバー

注記：“モト”シートが取り付けられている場合、ステアリングボールに格納します。“モト”シートの取り付け/保管を参照してください。カートシートが取り付けられている場合、取り外してください。カートシートの取り付け/取り外しを参照してください。

カバーからドライブシステム、エキゾーストシステム、ビルジポンプ、ペイラーピックアップにアクセスできます。



1. リアアクセスカバー

カバーを取り外すため、小さなドライバーでキャップをこじ開けます。ツールキットの小さなソケットを使用して、ボルトを外して、カバーを引いて取り外します。

取り付けるとき、プラスでボルトを締め、キャップを取り付けます。

24) 自動ビルジポンプ

ビルジへの浸水は、ビルジポンプによって排出されます。

セーフティランヤードキャップをポストに取り付けるとき、ビルジポンプは自動的にオンになります。水がすべて排出されるまでオンのままであり、次に自動的に停止します。

エンジンが作動しているとき、ビルジポンプは周期的に自動的に始動して、排水します。

25) “モト”シートリリースボタン

このボタンを使用すると、ステアリングボールに格納されている“モト”シートをラッチ解除します。

注意：このボタンを使用する前に、ステアリングボールが最高位置に上げられ、固定されていることを確認します。

注記: “モト” シートの取り出しまたは格納は、ウォータークラフトが水から上げられているとき、またはしっかりと係留された状態で行うことをお勧めします。それが不可能な場合は、波の静かな水面上で取り出しまたは格納を行ってください。

“モト” シートの取り付け

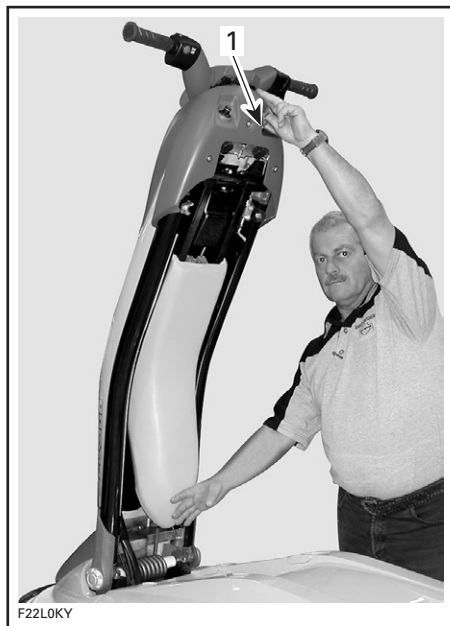
⚠ 警告

“モト” シートの取り付けや格納の前に。

- 他の交通や障害物のない安全な場所にウォータークラフトを止めます。
- エンジンを止めます。
- 他の船舶や障害物に対する注意を怠らないでください。モードを変えている間に、あなたのウォータークラフトが流されているかもしれません。

ステアリングポールを最高位置に上げて、留めます。

別の手で、リリースボタンを引きます。



F22L0KY

1. リリースボタン

“モト” シートをステアリングポールから引き出します。

注意: “モト” シートがエンジンカバーをこすらないように気をつけてください。

シートを外向きに回して上げて、後ろ向きに引きます。この位置を維持します。

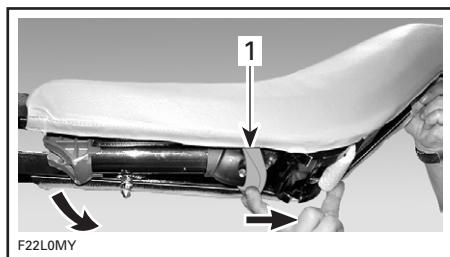


F22L0LY

シートの高さを保って、シートポストを引き出します。

注意: シートの高さが、ボディに触れることなくシートポストを引き出せる高さであることを確認します。

赤色のロックレバーを後ろ向きに引いて、ポストをシートから引きます。

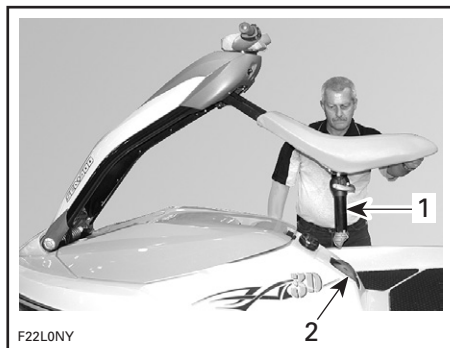


1. ロックレバー



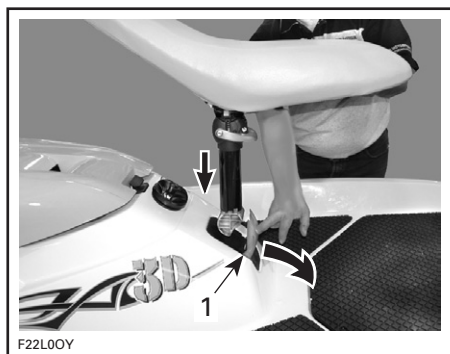
ポストを縦の位置に回して、ポストがポストレシーバーに合うようにシートを移動します。

注記: ポストを回すとき、中間位置でロックすることに注意してください。赤色のレバーをもう一度押してロック解除し、ポストが縦の位置になるまで回します。



1. 縦のポスト
2. レシーバー

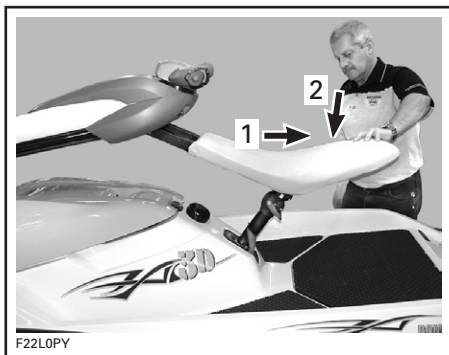
レシーバーのキャップを持ち上げ、シートポストをレシーバーに挿入する間開いたままにします。ポストナックルがレシーバーの奥まで挿入されていることを確認します。



1. レシーバーのキャップを持ち上げる

ポストを所定位置でロックするため:

- シートを後方にスライドします。
- シートを強く押し下げます。“ガチツ”という音が聞こえるはずで



1. シートを後方にスライドする
2. シートを強く押し下げる

引き上げてみて、シートが正しくロックされていることを確認してください。

⚠ 警告

航行中に突然コントロールを失うことがないように、ウォータークラフトを使用する前に必ずシートが正しくロックされていることを確かめてください。

使用前にステアリングを希望する位置に調整してください。ハンドルバーアジャスタを参照してください。

注意: “モト”シートをデッキに直接置いて航行しないでください。シートがデッキを損傷するおそれがあります。



“モト”シートの格納

ステアリングボールをハンドルバーで持ち上げたまま、赤色のロックングレバーを持ち上げてシートポストをロック解除します。

注記: ハンドルバーを押し下げると、シートのロック解除がしやすくなります。



1. ステアリングボールを支える

シートを前向きに押し、シートポストを縦にします。シートを持ち上げ、ポストをレシーバーから離します。



1. シートポストを縦にする

シートの高さを保って、ポストをシートの方に回します。



“ガチッ”という音が聞こえるまでポストをシートに強く押し下げます。

注意: シートの高さが、ボディに触れることなくポストをシートに向けて回せる高さであることを確認します。ポストが正しくラッチされていることを確認します。

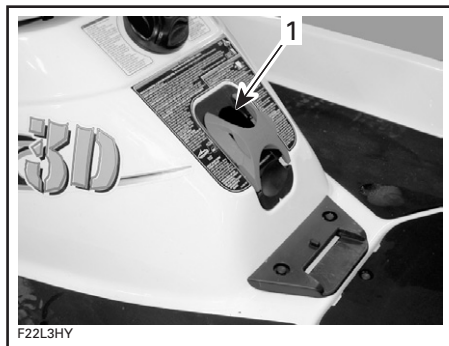
ステアリングポールの高さを保って、シートをステアリングポール方向に回します。“ガチッ”という音が聞こえるまでシートをステアリングポールに強く押し下げます。



注意: ポールに向けて回すときに“モト”シートがエンジンカバーに触れないように、ステアリングポールの高さを必ず保ちます。

26) “モト” シートポスト レシーバー

レシーバーは、デッキ上の位置にシートポストをロックします。使用説明については、上記“モト”シートの取り付け/保管を参照してください。



1. レシーバー

27) “モト” シートポスト リリースレバー

レバーによって、シートからシートポストをリリースします。また、ポストをデッキ上のポストレシーバーからリリースするためにも使用されます。使用説明については、上記“モト”シートの取り付け/保管を参照してください。

28) カートシートレバー (装備されている場合)

レバーにより、デッキ上でシートのラッチをロック解除します。

⚠ 警告

カートシートの取り外しまたは取り付けは、ウォータークラフトが水から上げられているとき、または波が静かですっきりと係留されている状態でのみ行ってください。

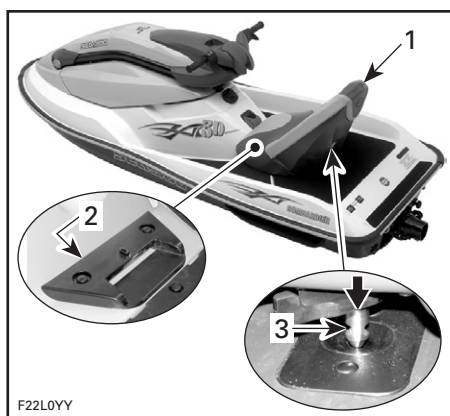
シートの取り付け

⚠ 警告

カートシートの取り外しまたは取り付け前に：
カートシートの取り外しまたは取り付けは、ウォータークラフトが水から上げられているとき、または波が静かでしっかりと係留されている状態でのみ行ってください。

シートを少し前に傾けて、シートフロントタブをデッキ上のアンカープレートに挿入します。

シート下のピンをデッキの穴に合わせ、押し下げてシートをラッチします。



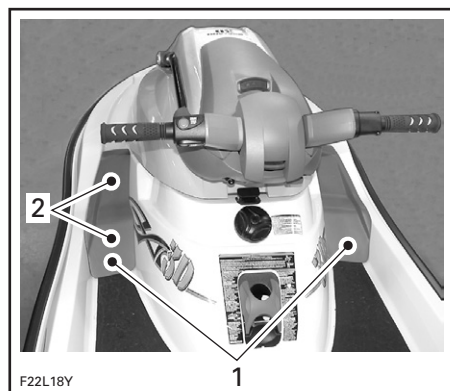
1. カートシート
2. アンカープレート
3. ピンを穴に挿入する

⚠ 警告

ウォータークラフトを航行する前に必ずシートが正しく取り付けられて、ロックされていることを確かめてください。

フットレストに快適に足を置けない場合、フットレストスペースを取り付けてください（詳細については、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください）。これは安定したライディングポジションを得るために役立ちます。

身長異なるオペレーターに対応するため、スペースにはステップが2つあります。どちらかあなたの足の長さ合う方を使用してください。ウォータークラフトのフットウェルにスペースをしっかりとラッチしてください。



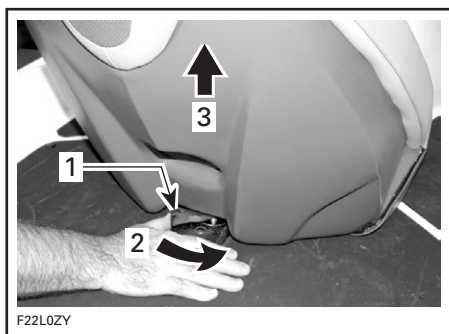
1. フットレストスペース
2. 2つのステップ

⚠ 警告

ステアリングポールをしっかりとロックしないままカートシートを取り付けて、ウォータークラフトを航行しないでください。カートシートの背もたれ部分に腰掛けてライディングしないでください。そうした姿勢ではウォータークラフトを十分にコントロールできず、重大なケガにつながる可能性があります。

シートの取り外し

写真のようにレバーを押したままラッチを解除して、シートの後方を持ち上げます。アンカープレートからシートを引き上げます。



1. レバー
2. 押し続ける
3. シートを持ち上げる

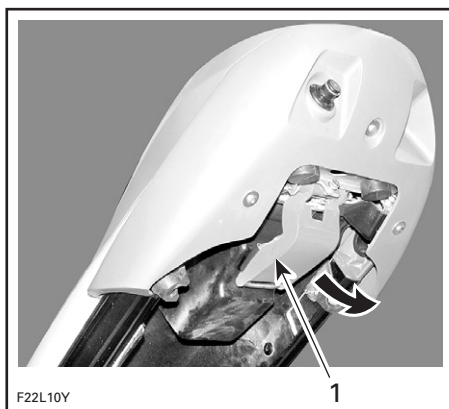
注意: フォームの形状が恒久的に変形することを避けるため、シートの右側を上にして保管します。また物体を上に乗ったままにしないでください。

29) ステアリングポールリテイナー (装備されている場合)

注記: ステアリングポールのロックまたはロック解除は、ウォータークラフトが水から上げられているとき、または波が静かでしっかりと係留されている状態でのみ行ってください。

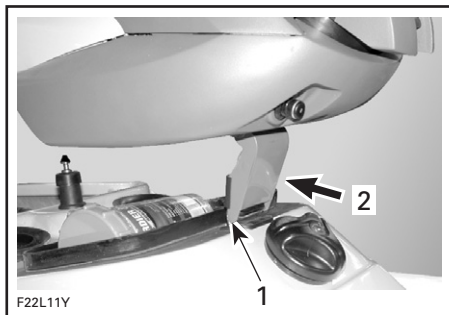
カートシートを使用するとき、縦の動きを防ぐためステアリングポールをこのリテイナーでロックすることは必要です。

リテイナーをステアリングポールから引き出し、所定位置にポールを降ろす間そのままにします。



1. リテイナーを引き出す

リテイナーがボディーのフックに挿入可能となるまで、ステアリングポールを降ろし続けます。次に、リテイナーを押して所定位置でロックします。



1. ボディーのフックにリテイナーの位置を合わせる
2. 押してロックする

燃料、オイル、クーラント

注意: このセクションの指示事項は正確に守ってください。指示が守られないと、エンジンの寿命および/または性能が低下する可能性があります。

給油の手順

警告

以下に示す船の安全な給油に関する指示事項に厳密に従ってください。

エンジンを止めます。

必ず全員がウォータークラフトから降りてください。

ウォータークラフトを給油用棧橋にしっかりと係留します。

手近なところに消火器を用意してください。

給油ノズルをあまりフィルターネックの奥の方まで差し込まないでください。

タンクから空気が逃げられるようにゆっくりと給油して、燃料の吹き返しを防いでください。燃料をこぼさないように注意してください。

燃料がフィルターネックの根元のところまで達したら、給油を止めます。燃料があふれ出るのを防ぐため、フィルターチューブの部分まで燃料を満たさないでください。燃料を入れすぎたはいけません。燃料タンクキャップを最後までしっかり締めてください。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気のよい場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっている場合がありますので、キャップを開けるときはゆっくりと回してください。裸火を明らかにして燃料レベルを確認するのは絶対にやめてください。給油中はウォータークラフトを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、給油口ぎりぎりまでガソリンを入れた状態で、ウォータークラフトを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

推奨燃料

次の推奨最小オクタン価以上の無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

場所	オクタン価
北米	87 オクタン価 (RON + MON)/2
北米以外	91 RON

注記: オイルと燃料を混ぜないでください。給油時、インジェクションオイルリザーバーのレベルが適正か確認してください。

注意: これ以外の燃料や燃料混合液類を試さないでください。10%を超えるアルコール(エタノールまたはメタノール)を含んだ燃料を使用しないでください。推奨の燃料以外を使用すると、ウォータークラフトの性能低下、燃料システムの重要な部品およびエンジンコンポーネントの損傷につながる可能性があります。

注意: DIモデルでは、インジェクター洗浄製品を使用しないでください。インジェクターコンポーネントを損傷する添加剤が含まれている場合があります。

推奨オイル

警告

燃料を入れすぎたはいけません。キャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。オイルは可燃性です。こぼれたオイルはビルジから必ず拭き取ってください。

Sea-Doo 認定ディーラーが販売する2ストローク用エンジンインジェクションオイルだけを使用してください。

モデル	オイルの種類
3D™ DI (1)	XP-S 合成 2-ストロークオイル

注意: (1) XP-S 合成 2-ストロークオイルは 947 DI エンジンの過酷な要求を満たすよう、特別に調整してテストされました。他のブランドの2-ストロークオイルを使用する場合は、限定保証が無効となる場合があります。XP-S 合成 2-ストロークオイルだけを使用してください。現時点では、市場に同等品があるかどうかは不明です。高性能な同等品なら使用可能です。

XP-S 合成 2-ストロークオイルの潤滑性能は優れており、エンジンコンポーネントの磨耗とオイルの堆積を減らし、結果として最高レベルの性能と減摩特性を維持します。この合成インジェクションオイルは、高い生物分解性と低廃棄煙により最新の ASTM および JASO 標準を満たします。

注意: 4-ストローク石油が合成モーターオイルを使用しないでください。また船外モーターオイルと混合しないでください。NMMA TC-W、C-W2、TC-W3 船外 2 ストロークエンジンオイルまたは無灰 2 ストロークエンジンオイルを使用しないでください。重大なエンジン損傷を引き起こすおそれのある化学反応を起こすので、異なるブランドの API TC オイルを混合しないでください。

注意: 4 ストロークオイルを使用すること、または 2 ストロークオイルを使用済みの 4 ストロークオイル容器に入れることはしないでください。4 ストロークオイルがシステム内に入った場合、オイルシステム全体(ポンプ、リザーバー、ライン、バルブ等)を徹底的に洗浄してください。

オイルインジェクションシステム

このウォータークラフトには、手動の燃料/オイル混合を必要としないオイル噴射システム機能があります。

リザーバーには十分な量のインジェクションオイルが必要です。

オイルをリザーバーに注入するためには、じょうごの使用を勧めます。リザーバーの上端から約 13 mm (1/2 in) までオイルが来たらすぐに、注入を止めます。入れすぎないようにしてください。

注意: オイルリザーバーには常に十分な量のインジェクションオイルが必要です。必要があれば、給油時に必ず点検と補給を行ってください。燃料を入れすぎてはいけません。エンジンにオイルが無くなると、重大なエンジンの損傷が起きます。オイルリザーバーがほとんど空になると、空気がシステム内に入ることがありますので、逃がすことが必要です。オイルインジェクションシステムの点検のため、Sea-Doo 認定ディーラーに直ちにお問い合わせください。

慣らし運転期間

注意: このセクションの指示事項は正確に守ってください。指示が守られないと、エンジンの寿命および / または性能が低下する可能性があります。

Rotax® エンジンを搭載した Sea-Doo ウォータークラフトは、フルスロットルでの連続航行を行う前に10時間の慣らし運転期間が必要です。

最大15秒間、短時間スロットルを全開加速させて、数分毎にエンジンの回転数を変化させるなら、適切な慣らしに役立ちます。

注記: 慣らし運転のため、燃料タンクにインジェクションオイルを補給しないでください。

注意: スロットルを全開にして航行を続けたり、速度に変化をつけずに長時間の巡航を行うのは避けてください。慣らし運転中にこうした使い方をすると、エンジン損傷の原因になることがあります。

10 時間点検

注記: この10時間点検はウォータークラフト所有者の費用負担で行われるものです。

実使用時間が最初の10時間を過ぎた時点で、Sea-Doo 認定ディーラーによるウォータークラフトの点検を受けることをお勧めします。この点検は、あなたが操縦を始めたいばかりの段階で感じたかもしれない疑問点について、ディーラーと話し合うよい機会にもなるでしょう。

使用前の点検

⚠ 警告

ウォータークラフトを使用する前に点検を行うことはたいへん重要です。以下の一覧表に従って、重要な操縦装置、安全装備、機械的コンポーネントが正しく作動していることを確認してください。ここで指定された通りに点検が行われていないと、死亡または重大な人身事故につながるおそれがあります。各地域の法律で要求されるすべての安全装備品を携行してください。

次に挙げる項目には、このガイドでこれまでに取り扱っていないものも含まれていますが、そうした項目は後出のメンテナンスまたは特殊な手順セクションで解説します。詳細については、これらの各セクションを参照してください。

⚠ 警告

次の各項目の確認を行うまではエンジンをかけず、必ずセイフティランヤードをポストから外しておいてください。全項目の点検を終え、正しく作動することを確認してから、ウォータークラフトを始動してください。

項目	作業内容	✓
船体 (ハル)	点検。	
ジェットポンプウォーターインテーク	点検 / 清掃。	
ビルジ	排水。プラグが締まっていることを確認。	
冷却システムの冷却水 (気温が氷点下またはそれに近い場合のみ)	水がジェットポンプを正しく流れているか点検。	
バッテリー	ケーブルと固定ブラケットの締め付けの点検。	
燃料タンクとオイルリザーバー	燃料を補給してください。	
エンジンコンパートメント	燃料ライン接続部の締め付けの点検。燃料漏れ / 臭気の点検。	
ステアリングシステム	作動と正しいハンドルバーの位置の点検。	
ステアリングポール	作動を点検。	
スロットルシステム	作動を点検。	
VTS (装備されている場合)	位置を点検して調整。	
セイフティーランヤードとエンジンスタート / ストップボタン	作動を点検。	
オプションのモード	取り付けと設定を点検。	

注記: 詳しい指示事項については、以下を参照してください。

船体 (ハル)

船体にひび割れや損傷がないか点検してください。

ジェットポンプウォーターインターク

水草、貝殻、異物などを取り除いてください。これらは水の流れを妨げ、冷却システムや推進ユニットを損傷する可能性があります。必要に応じて清掃してください。どうしても除去できないものがある場合は、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

インペラーの前縁を点検してください。この部分が欠けていたり、曲がっていたりすると、性能が大きく損なわれます。

ビルジ

ビルジ内に水が入っている場合は、セイフティランヤードをポストに取り付け、電気ビルジポンプを始動します。ビルジ内に水が入っている場合は、ウォータークラフトを後ろ下がりに傾け、ドレンプラグを緩めてビルジ内を完全に排水してください。

排水を終えたら、ビルジドレンプラグをしっかりと締めてください。

警告

ウォータークラフトを再び水に浮べる前に、すべてのドレンプラグが正しくしっかりと締まっていることを確認してください。

冷却システムの冷却水(気温が氷点下またはそれに近い場合のみ)

寒冷地において、気温が氷点下 (0°C (32°F)) またはそれに近いときにウォータークラフトを使用する場合、あるいは気温が氷点下またはそれに近い場所にウォータークラフトを置いておいた場合、冷却システムホースの中で水が凍結する可能性があります。これは冷却システムのオーバーヒートの原因になります。冷却システムを正しく作動させるため、そのような場合にはウォータークラフトを使用する前に次のような作業を行ってください:

- この作業はウォータークラフトを水から上げた状態で行います。
- ジェットポンプのフラッシングコネクタに散水用ホースをつなぎます。
- 使用後のお手入れで解説されているフラッシングの手順を実施してください。
- ジェットポンプから水が流れ出てくることを確認します。流れ出ないとすれば、冷却システムの中で水が凍結して、水の流れを妨げています。このような状態のままウォータークラフトを使用しないでください。

注記: エキゾーストアウトレットからも少量の水が流れ出ることに注意してください。水がジェットポンプから確実に流れ出ていることを確認してください。

注意: 冷却システム内の水が凍ったままウォータークラフトを使用すると、エンジンのコンポーネントの損傷につながる可能性があります。

注記: 凍結した場合、水が膨張することによってエンジンのコンポーネントが損傷するおそれはありませんが、冷却水の流れが滞るために損傷の原因になることがあります。

- 氷が溶けるまで待つが、冷却システムコンポーネントとエンジンに少量のお湯をかけてください。その後、もう一度フラッシングを行っ

て、ジェットポンプから正しく水が流れ出ることを確認します。それでも水が流れ出ない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。

⚠ 警告

電熱器の類を使って冷却システムを暖めないでください。電気器具はスパークを発生する可能性があり、気化してビルジ内に滞留した燃料がこのスパークによって燃焼し、火災や爆発を起こすおそれがあります。

- ビルジ内に水が溜まっている場合は、排水してください。

バッテリー

⚠ 警告

バッテリーケーブルのポストへの締め付けと、バッテリーの固定ブラケット/ファスナーの状態を確認してください。バッテリーを取り付けたまま充電またはブーストしないでください。

燃料タンクとオイルリザーバー
ウォータークラフトを水平にして、タンクに燃料を補給してください。

オイルレベルを確認し、必要に応じてリザーバーに補給を行ってください。

燃料タンクおよびオイルリザーバーの固定ストラップ/ファスナーを点検してください。

エンジンコンパートメント

⚠ 警告

燃料漏れがあったり燃料の臭気が感じられる場合は、エンジンを始動しないでください。そのまま使用せずに、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

ステアリングシステム

誰かに手伝ってもらいながら、ステアリングシステムが自由に動くことを確認します。ハンドルバーが水平（直進状態）になっているとき、ジェットポンプノズルは真直ぐな位置にあるはずですが、オペレーターの好みに合わせてハンドルバーを調整し、スロットルレバーを正しく使用します。

⚠ 警告

エンジンを始動する前に、ハンドルバーとステアリングノズルの動きが一致していることを確かめてください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリング用可動部品（ノズル、リンクージ等）には人を近づけないでください。

ステアリングポール

ステアリングポールが途中で引っかからずに上下にスムーズに動くことを確認してください。ポールの重さの感触に注意しながら動かしてみます。この重さは調整が可能です。操縦装置、各コンポーネントと計器類を参照してください。

スロットルシステム

スロットルレバーが引っかかりなくスムーズに作動するか点検してください。レバーから手を放したときには、すぐにレバーが元の位置に戻らなければなりません。

⚠ 警告

スロットルレバーの作動の点検は、エンジンを始動する前に行ってください。

VTS（可変トリムシステム） （装備されている場合）

水面の状態とオペレーターの好みに合わせて VTS を調整します。

セイフティランヤードとエンジンスタート / ストップボタン

両方のスイッチが正しく作動することを確認めます。エンジンを始動し、それぞれのスイッチを使って停止させてみます。

警告

セイフティランヤードキャップのはめ合いが緩かったり、ポストから外れてしまうような場合は、危険を避けるためただちにセイフティランヤードを交換してください。

オプションのモード

操縦装置、各コンポーネントと計器類を参照してください。

警告

ウォータークラフトのエンジンを始動する前に、ウォータークラフトをコントロールできるライディングポジションであることを確かめるため、使用しているオプションのシートまたはアクセサリが正しくラッチされて安定していることを常に確認してください。

使用上の諸注意

⚠ 警告

ウォータークラフトを使用する前に、必ず使用前の点検を実施してください。すべての操縦装置とその機能を完全に理解しておいてください。操縦装置や注意事項についてよくわからないことがある場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

このウォータークラフトは、オペレーター 1 人専用です。

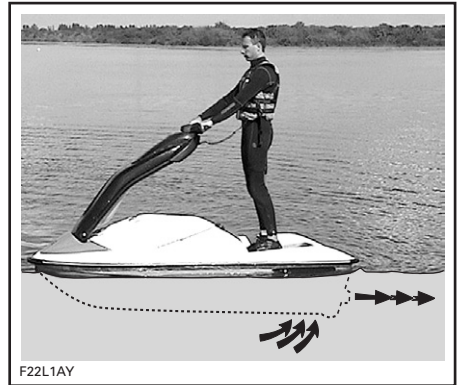
⚠ 警告

- 同乗者を乗せて航行しないでください。このウォータークラフトは、オペレーター 1 人専用です。
- 同乗者には安定したシートはないので、安定性がなく落水する可能性があり、重傷を負うおそれがあります。

作動原理

推進

エンジンはドライブシャフトに直接つながっており、このシャフトがインペラーを回転させます。インペラーはハウジングの中で精密に調整されており、ハウジングにはウォータークラフトの底から水が吸い上げられます。この水はインペラーからベンチュリに流れます。水流はベンチュリで加速され、ウォータークラフトを動かす推進力を生み出します。スロットルレバーを押すとエンジンの回転数が上がり、ウォータークラフトの速度も増します。



F22L1AY

⚠ 警告

エンジンを始動するときには、オペレーターは必ずウォータークラフトに正しく着座し、JCI（小型船舶検査機構）認定の体形に合った救命胴衣とウェットスーツなどの保護衣服を着用してください。

⚠ 警告

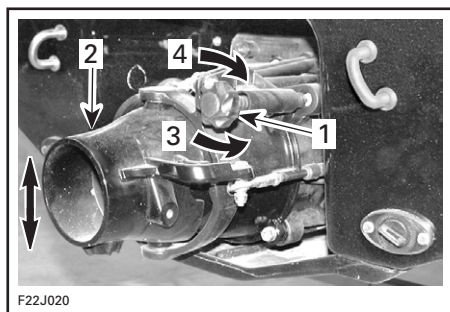
エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。

可変トリムシステム (装備されている場合)

可変トリムシステム (VTS) は、ジェットポンプノズルの角度を変えることにより、荷重、推進力、ライディングポジション、水面の状態などに応じた補正をオペレーターが手早く効果的に行えるようにするシステムです。このシステムが正しく調整されていれば、ハンドリングを改善し、ポーピングを軽減し、ウォータークラフトの最良のライディング角度を維持して、最大限のパフォーマンスを引き出すことができます。

ウォータークラフトを初めて使うとき、オペレーターはさまざまな速度と水面の状態に変速トリムシステム(VTS)を操作して、その使い方に慣れておく必要があります。一般にクルージングには中間レンジのトリムを用います。コンディションに応じた最良のトリムの判断は、経験に頼るほかありません。低速での航行が推奨されているウォータークラフトの慣らし運転期間中は、トリムの調整とその効果について経験を積む絶好の機会になるでしょう。

ノズルを上向きのポジションにすると、水の推進力によってウォータークラフトの船首が上を向きます。このポジションは高速で航行したい場合に用います。



1. アジャスタ
2. ノズルを上下する
3. ノズルを上げる
4. ノズルを下げる

ズルを下向きにすると、船首は下へ押し付けられて、ウォータークラフトの旋回能力を高めます。どんなウォータークラフトでも、ターンの角度と鋭さを決めるのは、そのときのスピードとオペレーターの体の位置や動き(動作)です。また、ノズルを下へ向け、それに応じて速度を調整すると、ポーピングを減らしたり完全に消したりすることができます。

ステアリング



F22L1DY

左折



F22L1DZ

右折



F22L1BY

左折



F22L1CY

右折

ハンドルバーを回すと、ジェットポンプノズルが軸を中心に向きを変え、ウォータークラフトの進行方向を制御します。ハンドルバーを右に切ると、ウォータークラフトは右へ旋回し、左に切れば左に旋回します。ウォータークラフトを旋回させるときはスロットルを開いてください。

“バート”オペレーションでは、さまざまなライディングポジションに合わせて操縦しながらステアリングボールを上下に動かすことができます。

注記: ステアリングボールを上または下へ動かしても、ウォータークラフトの進行方向は変わりません。

警告

ウォータークラフトの向きを変えるには、スロットルを開いた状態でハンドルバーを回してください。ステアリング効率は、荷重、水面のコンディション、および風などの環境要因によっても変化します。

自動車とは異なり、ウォータークラフトを旋回させるにはある程度スロットルを開く必要があります。安全な場所でスロットルを開けながら旋回して、想像上の物体を回避する練習を行ってください。これは衝突を避けるための大切なテクニックです。

警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。

“バート”モードでライディングする場合は、両足を広げて立ち、ターンするとき体に傾けるようにするとバランスを保ちやすくなるでしょう。

注意: 内燃機関の運転には空気が必要ですが、このウォータークラフトを完全防水にすることはできません。例えばフィギュアエイトなどのようにアッパーデッキが水没するような機動は、水の吸入による重大なエンジントラブルの原因になることがあります。特殊な手順と限定保証を参照してください。

O.T.A.S.TMシステム (オフスロットルアシステッドステアリング)

O.T.A.S. (オフスロットルアシステッドステアリング) システムは、スロットルを戻した状況でも操縦をしやすいとします。ドライバーがフルターンをすると、O.T.A.S.システムが電子的に起動され、あらかじめプログラムされた回転数の範囲内でわずかにエンジンの回転数を上げます。ハンドルバーが直進の位置に戻されると、スロットルはアイドリングの状態に復帰します。

初めてライディングするとき、この機能を使って慣れておくことをお勧めします。

ウォータークラフトへの乗船

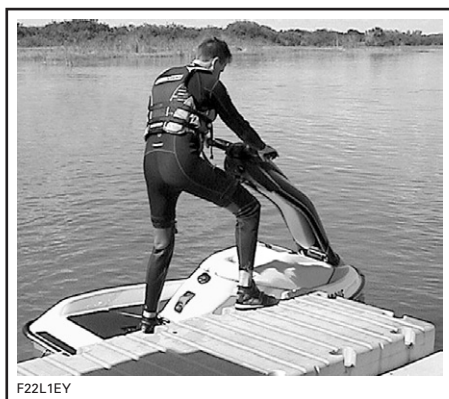
一般的注意

どんなウォータークラフトにも言えることですが、エンジンが回っていない状態で、慎重に乗り込むようにしてください。

警告

- ウォータークラフトに乗船するときはエンジンを止めてください。ジェットノズルやインテークグレートに脚を近づけないでください。
- 経験の浅いオペレーターは、水深の深いところへ出る前に岸の近くで水中から乗船する方法 (ここで解説するすべての方法) を練習してください。
- ウォータークラフトに乗り込むときに、ジェットポンプのコンポーネントを手でつかんだり、足をかけたりしないでください。

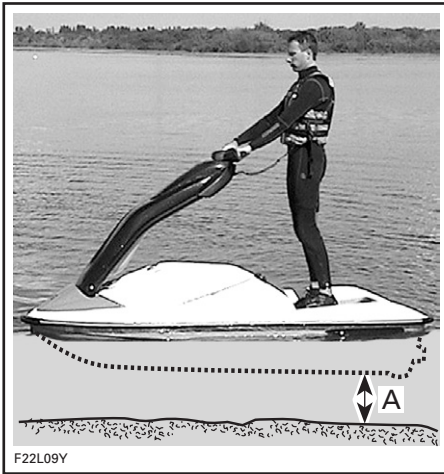
棧橋または水深の浅いところでの乗船
棧橋から乗り込むときは、ハンドルバーを押さえながらウォータークラフトのリアプラットフォームの中央に一方の足をゆっくりと置きます。体重をウォータークラフトの方へ移動して、もう一方の足をプラットフォームに移してください。棧橋を押して、ウォータークラフトを棧橋から離れさせます。



注記: “モト”またはカートシートモードのウォータークラフトに乗り込む場合は、シートを利用して体を支え、バランスを保つてもよいでしょう。

すべてのモデル 水深の浅いところでは、ウォータークラフトの側面または後部から乗り込んでください。

船体後部の一番低いところの下に少なくとも 90 cm (3 ft) の水深があることを確かめてください。



- A. 乗船するとき、船体後部の最も低い場所の下に少なくとも 90 cm (3 ft) の水深を保つこと

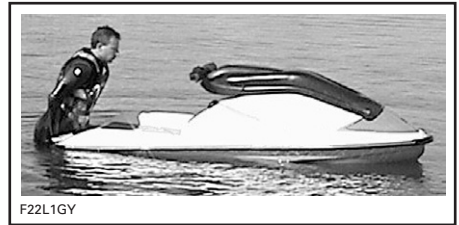
乗船するときには、船体は水中でより深く浮かぶことを忘れないでください。

注意: 水深の浅いところでウォータークラフトのエンジンを始動したり、航行したりすると、砂や小石、岩などがジェットポンプに吸い込まれて、インペラーやポンプのその他のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

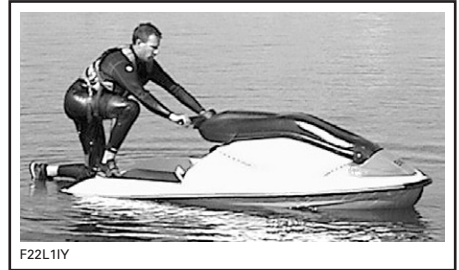
水深の深いところでの乗船
ウォータークラフトの後ろまで泳いでいきます。



ボーディングプラットフォームに手を置いて、プラットフォームに膝が乗るところまで体を引き上げます。



ハンドルバーを使ってバランスを保ちながら、両足をリアプラットフォームまでもっていきます。



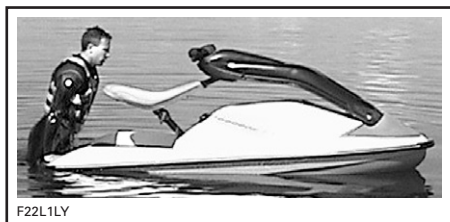
注記: “モト”モードのウォータークラフトでは、シートストラップを使うと乗船が楽になるかもしれません。



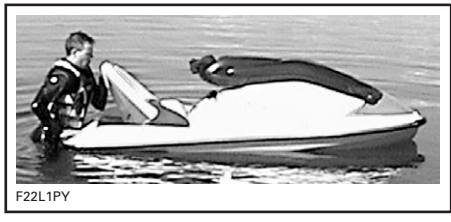
F22L1KY



F22L1OY



F22L1LY



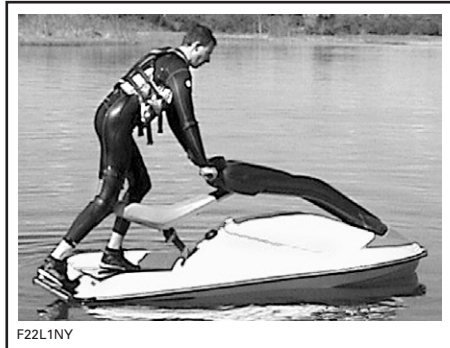
F22L1PY



F22L1MY



F22L1QY



F22L1NY



F22L1RY

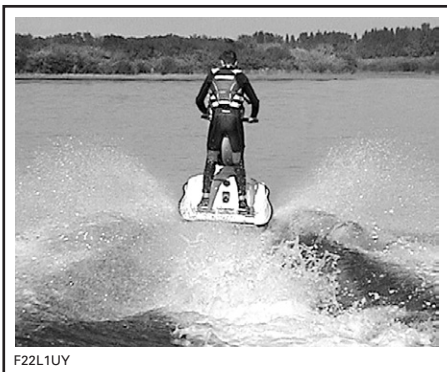


F22L1SY

注記: カートモード (装備している場合) のウォータークラフトに乗り込む場合は、シートを利用して体を支え、バランスを保ってもよいでしょう。

乗り込んだ後は適切なライディングポジションをとってください。

“バート”モード



“バート”ポジションでウォータークラフトを操縦するときは、つねに両足をプラットフォーム上に置いてください。航行中に片足を上げたりすると、バランスを失って転倒する可能性があります。

警告

ウォータークラフトから転落した場合は、ハンドルバーから手を放してください。ハンドルバーを握ったまましていると、ケガの原因となるおそれがあります。

注意：転落するときハンドルバーを握ったまましていると、ステアリングポールやその他のコンポーネントを損傷する可能性があります。ステアリングポールの長さによってあなたの体重の影響が何倍にもなり、ウォータークラフトのコンポーネントに大きな応力が加わります。

警告

“バート”モードでの正しいライディングポジションは、オペレーターがハンドルバーの後方、デッキのリアプラットフォームの上に立つ姿勢です。これ以外のライディングポジションでは、ウォータークラフトを十分にコントロールできなかつたり、周囲の視界が不十分になつたりする可能性があり、事故、衝突、あるいは重大なケガの原因になるおそれがあります。

“モト”モード

“モト”シートの取り出しまたは格納は、ウォータークラフトが水から上げられているとき、またははっきりと係留された状態で行うことをお勧めします。それが不可能な場合は、波の静かな水面上で取り出しまたは格納を行ってください。取り付け手順の詳細については、“モト”シートリリースボタンを参照してください。

警告

航行中にコントロールを失って衝突するのを避けるため、“モト”シートの取り出しまたは格納を行う前に：

- 他の交通や障害物のない安全な場所にウォータークラフトを止めます。
- エンジンを止めます。
- 他の船舶や障害物に対する注意を怠らないでください。モードを変えている間に、あなたのウォータークラフトが流されているかもしれませぬ。

警告

航行中に突然コントロールを失うことがないように、ウォータークラフトを使用する前に必ずシートが正しくロックされていることを確かめてください。

警告

“モト”モードでの正しいライディングポジションは、オペレーターが両脚を広げて“モト”シートに座り、両足をしっかりとデッキ上に置いた姿勢です。これ以外のライディングポジションでは、ウォータークラフトを十分にコントロールできなかつたり、周囲の視界が不十分になつたりする可能性があり、事故、衝突、あるいは重大なケガの原因になるおそれがあります。

カートモード (装備されている場合)

取り付け手順の詳細については、カートシートレバーを参照してください。

⚠ 警告

- カートシートの取り付けまたは取り外しは、ウォータークラフトが水から上げられているとき、または波が静かでしっかりと係留されている状態でのみ行ってください。
- 航行中に突然コントロールを失うことがないように、ウォータークラフトを使用する前に必ずシートが正しくロックされていること、そしてステアリングポールが下げた状態でロックされていることを確かめてください。

⚠ 警告

- カートモードでの正しいライディングポジションは、オペレーターがカートシートに座った姿勢です。カートシートが取り付けられている場合、“バート”ポジション(立ち上がった姿勢)でのライディングはお勧めできませんが、どうしてもそうせざるを得ないときは、低速で最大限の注意を払いながら航行してください。これ以外のライディングポジションでは、ウォータークラフトを十分にコントロールできなかつたり、周囲の視界が不十分になったりする可能性があり、事故、衝突、あるいは重大なケガの原因になるおそれがあります。
- カートシートの背もたれ部分に腰掛けてライディングしないでください。そうした姿勢ではウォータークラフトを十分にコントロールできず、重大なケガにつながる可能性があります。

波の荒いときや視界の悪いときの航行

このように条件の悪いときはできるだけ航行を避けてください。どうしても航行しなければならない場合は、最低限の速度で十分に警戒しながら慎重に進んでください。

波を横切るとき

速度を落としてください。

必要に応じていつでもステアリングを操作し、バランスを取れるよう構えてください。

他の船の航跡を横切るときは、必ず先行するウォータークラフトとの間に安全な距離を保ってください。

⚠ 警告

航跡を横切るときは十分に速度を落としてください。オペレーターがわずかに腰を浮かせる姿勢を取ると、揺れに備えることができます。波や航跡でジャンプしないでください。

停止 / ドック入れ

ウォータークラフトは水の抵抗によって減速します。停止距離はウォータークラフトのサイズ、重量、速度、水面の状況、風や潮流の有無とその向きによって変わってきます。



オペレーターはさまざまな条件下での停止距離を熟知していなければなりません。

予定の上陸または停泊地点から逆算して、十分に手前からスロットルを戻してください。

“バート”モードの時、足をわずかに前方あるいは後方に動かすなら、バランスを保ち、ウォータークラフト減速を補正する助けとなります。



アイドリング状態まで減速します。

警告

スロットルを戻したりエンジンを止めたりすると、ウォータークラフトの進路を制御しにくくなります。

浜辺に乗り上げるとき

注意: ウォータークラフトを直に浜辺に乗り上げるのはお勧めできません。

ゆっくりと浜辺に近づき、船体後部の最も低い場所下の水深が 90 cm (3 ft) くらいになる前に、セイフティランヤードを使ってエンジンを止めます。そこから浜まではウォータークラフトを引いて運んでください。

注意: 水深が浅すぎる場所でウォータークラフトを走らせると、インペラーまたはその他のジェットポンプのコンポーネントが損傷するおそれがあります。

エンジンの停止

ウォータークラフトの方向制御を維持するため、ウォータークラフトがアイドリングの速度になるまで、エンジンを止めないでください。

エンジンを停止させるには、完全にスロットルレバーを戻すか、エンジンスタート/ストップボタンを押します。セイフティランヤードをウォータークラフトから外してください。

警告

エンジンが停止すると、ウォータークラフトの進路を制御できなくなります。ウォータークラフトを使用しないときは、誤ってエンジンを始動したり、子供や他人が許可なく使用したり、盗まれたりしないように、必ずセイフティランヤードを外してください。

使用後のお手入れ

警告

メンテナンス作業を行う前に、十分にエンジンの熱を冷ましてください。

船体の手入れ

海洋微生物などの繁殖を防ぐため、ウォータークラフトは毎日水から上げてください。

ビルジ内に水が入っている場合は、セイフティランヤードをポストに取り付け、電気ビルジポンプを始動します。ビルジ内に水が入っている場合は、ウォータークラフトを後ろ下がりに傾け、ドレンプラグを緩めてビルジ内を完全に排水してください。

エンジンコンパートメント内（ビルジ、エンジン、バッテリーなど）に残っている水やその他の液体は、乾いたきれいなウエスで拭き取ってください（塩水で使用している場合は、これが特に重要です）。

泥水や塩水で使 用した場合の手入れ

ウォータークラフトを泥水や特に塩水で使用した場合は、ウォータークラフトとそのコンポーネントを保護するため、さらに追加の手入れを行う必要があります。

ウォータークラフトのビルジ部分を真水で洗い流してください。

ビルジ部分を洗うために高圧洗浄器を使用しないでください。水圧を低めて使用してください（散水用ホースのように）。

水圧が高いと、電氣的また機械的な損傷が生じるおそれがあります。

注意: 次のような適切な手入れを行わないと: ウォータークラフトを塩水で使用した場合は、ウォータークラフトの洗浄、冷却システムのフラッシング、防蝕処理などを行わないと、ウォータークラフトとそのコンポーネントの損傷につながります。また、直射日光の当たる場所にウォータークラフトを保管しないでください。

冷却システムのフラッシング とエンジン内部の潤滑

一般的注意

真水による冷却システムのフラッシングは、水に含まれる塩分やその他の化学物質による腐食効果を中和するために必要不可欠です。また、これによってウォータージャケット(エンジン、エキゾーストマニホールド、同調パイプ)および/またはホース内の砂、塩、貝殻などの異物がある程度まで取り除くこともできます。

エンジンの潤滑とフラッシングの作業は、その日はもうウォータークラフトを使用しないと思われるとき、またはウォータークラフトを長期にわたって保管するときに実施してください。

警告

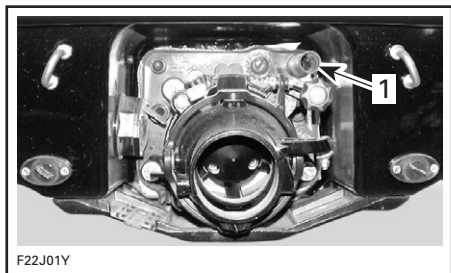
この作業は換気の良い場所で行ってください。

次の手順に従ってください:

ジェットポンプのインレットとアウトレットに水を吹きかけて洗い、その後でXP-S ルーブ潤滑剤または同等品を塗布してください。

ウォータークラフト後部のジェットポンプサポートにあるフィッティングに、散水用ホースを接続してください。

注記: お望みであれば、クイックコネクトアダプターを使用できます (P/N 295 500 473)。エンジンのフラッシングには、ホースピンチャーは必要ありません。



1. フラッシングコネクター

注記: 手順が完了したら、クイックコネクトアダプターを取り外してください。

フラッシングと潤滑

冷却システムのフラッシングを行うには、まずエンジンをかけてから、その後ただちに水栓を開けてください。

警告

エンジンコンパートメント内の部品は、高温になる場合があります。エンジンが回っている間は、電気系の部品やジェットポンプまわりから離れてください。

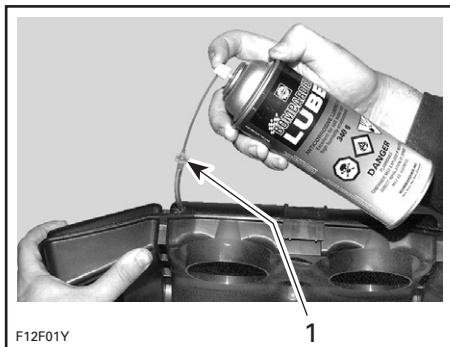
注意: まだエンジンが冷えていない場合はフラッシングを行わないでください。必ずエンジンを始動してから、水栓を開けてください。オーバーヒートを防ぐため、エンジンがかかったらすぐに水栓を開けてください。

エンジンを 3500 RPM のファストアイドルで約 3 秒間回します。

ドレンラインから水が流れ出てくることを確認してください (フラッシング中エンジンクランクケースとエンジンシリンダ)。水が出てこなければ、ラインをクリーニングしてください。

注意: エンジンを 5 分以上回さないでください。ウォータークラフトが水から上がっているときは、ドライプラインシールが冷却されないためです。

エンジンを 1 分間ファストアイドルする間、エアインテークサイレンサーの穴を通して、XP-S ループ潤滑剤または同等品をスプレーしてください。



1. エアボックスからチューブを一部分引き出して、XP-S ループ潤滑剤または同等品を吹く。終了したら、チューブを押す。

少なくとも 1 分間、エンジンを潤滑します。

注意: 燃料不足でエンジンの回転が不安定なとき、エンジンが止まる前にすぐに水の流れを止めます。

先に水栓を閉めてから、その後エンジンを止めます。

注意: 必ず水栓を閉めてから、エンジンを止めてください。

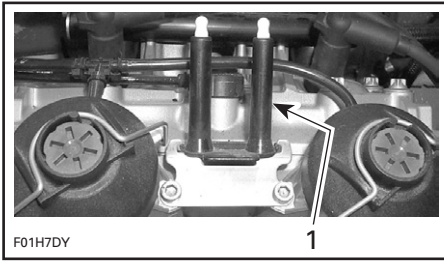
最後に

散水用ホースを取り外します。

スパークプラグケーブルを取り出して、接地デバイスで接続します。

警告

スパークプラグを取り外したときは、必ずスパークプラグケーブルの接地デバイスを使用してください。



バッテリーポストとケーブルコネクターには、誘電性グリース（耐塩水性）を塗布してください。

注意：エンジンコンパートメントやビルジ内にウエスやツールなどを置き忘れないようにしてください。

1. 接地デバイス

両方のスパークプラグを取り外して、各シリンダにXP-S ループ潤滑剤または同等品をスプレーします。

エンジンを始動するときに燃料が噴射されるのを防ぎ、点火をカットするために、次の手順を行ってください。

エンジンが止まっている状態でスロットルレバーをいっぱいまで押し、クランキングをしている間、スロットルを開いたままで保持します。

注記：1秒毎に1秒間のビーブ音は、ドラウンドモードが有効であることを示します。

クランキングによってエンジンを数回回転させ、シリンダーウォールにオイルを行き渡らせてください。

スパークプラグのねじ山に焼き付き防止潤滑剤を塗布し、スパークプラグを元通りに取り付けます。

スパークプラグケーブルをスパークプラグに正しく再接続します。

警告

スパークプラグケーブルを元と同じスパークプラグに常に再接続します。

エンジンまわりに水気が残っていれば、きれいに拭き取ってください。

防蝕処理

腐食を防ぐため、エンジンコンパートメント内の金属製コンポーネントには、XP-S ループ潤滑剤または同等品などの腐食防止剤（耐塩水性）をスプレーしてください。

特殊な手順

応急帰還モード

モニタリングシステム

ウォータークラフトをより快適にお使いいただくため、燃料噴射システム、電子部品、その他のシステムは、エンジンモーターと一体化されています。何らかの故障が起ると、警告灯の点滅と警告音によって、ある特定の状態が生じていることを知らせます。ピープ音のコード化された信号の意味については、トラブルシューティングセクションを参照してください。

応急帰還モード

燃料噴射システムの部品が正しく作動していない場合、上記の各シグナルとは別に、システムが MPEM に自動的にデフォルトパラメーターを設定して、ウォータークラフトをとがれず航行できるようにすることがあります。

その故障の重大さによっても異なりませんが、この機能が働くと通常よりウォータークラフトの速度が低下したり、最高速度に達しない場合があります。この場合、エンジン回転数がアイドリングまで落ちると、通常の作動に復帰する場合があります。

コンポーネントに重大な異常があると、エンジンのアイドル回転数が制限されることがあります。この場合、ポットから外して、取り付け直すと、通常の作動に復帰する場合があります。

このように性能を制限するモードは、こうした高度なシステムがなければその場で救援を待つしかないオペレーターを自力で帰還させるためのモードです。このような事態が起きた場合は、できるだけ早く SEA-DOO 認定ディーラーを訪れ、点検を受けてください。

エンジンのオーバーヒート

注意: モニタリングシステムのブザーが鳴り続ける場合は、ただちにエンジンを止めてください。

このセクションで解説されているジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃を実施してください。

岸に戻ったら、使用後の手入れを参照して冷却システムのフラッシングを行ってください。

それでもエンジンのオーバーヒート状態が解消されなければ、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

ジェットポンプウォーターインテークとインペラーの清掃

⚠ 警告

エンジンがかかっているときはインテークグレートに近づかないでください。長い髪、ゆったりした衣服、救命胴衣のストラップなどが可動部分に絡んで、重大なケガを負ったり、溺れたりするおそれがあります。

水草、貝殻、あるいはその他の異物が、インテークグレート、ドライブシャフトおよび / またはインペラーに引っかかったり、絡んだりすることがあります。ウォーターインテークが詰まると、次のようなトラブルの原因になります：

- キャビテーション: 推進力が低下するため、エンジンの回転を上げてもウォータークラフトが低速でしか進まず、ジェットポンプのコンポーネントを損傷するおそれがあります。
- オーバーヒート: エキゾーストシステムを冷却する水の流れはジェットポンプの作動に依存しているため、インテークが詰まるとエンジンのオーバーヒートの原因にな

り、エンジン内部の部品が損傷するおそれがあります。

水草が詰まった部分は、次のような手順で清掃することができます：

水中での清掃

エンジンが始動しない程度にエンジンスタート/ストップボタンを瞬間的に繰り返して押しながら、ウォータークラフトを左右に数回揺さぶります。大半の場合は、これで詰まりが解消されるはずですが、エンジンを始動して、ブリードアウトレットから水が出るか、またウォータークラフトが正常に作動するか確認してください。

それでも詰まりが解消されない場合は、ウォータークラフトをいったん水から上げて、手作業で詰まったものを取り除いてください。

陸上での清掃

⚠ 警告

ジェットポンプまわりの清掃を行う場合は、誤ってエンジンを始動してしまわないように、必ずセイフティランヤードキャップをポストから取り外してください。

清掃のためウォータークラフトを横倒しにしたときにキズがつかないように、ウォータークラフトの脇に厚紙がカーペットを敷きます。

清掃のためにウォータークラフトを左右どちらかに回転させるように傾けます。



ウォーターインテークまわりを清掃してください。それでもシステムの詰まりが解消されない場合は、Sea-Doo認定ディーラーに整備を依頼してください。

注意: 清掃と併せて、ウォーターインテークプレートに損傷がないか点検してください。その必要があれば、Sea-Doo認定ディーラーに修理を依頼してください。

ウォータークラフトが転覆したとき

ウォータークラフトは簡単には転覆しないように設計されています。また、船体の両サイドにはスポンソン（浮き）が取り付けられており、ウォータークラフトの安定性をさらに高めています。ただし、一度転覆してしまうと、自力では復帰しません。

⚠ 警告

ウォータークラフトが転覆しているときは、エンジンの再始動を試みないでください。オペレーターは認定された救命胴衣を着用してください。

“バート”モード

ウォータークラフトを正立状態に戻すには、まずエンジンが停止していることを確認します。ステアリンググールを持ち上げる、またはバンパーレールに足をかけ、体重を利用してウォータークラフトをどちらかの方向へ回転させてください。

“モト”シートとカートモード (装備されている場合)

ウォータークラフトを正立状態に戻すには、まずエンジンが止まっていること、インレットグレートをつかみ、バンパーレールに足をかけ、体重を利用してウォータークラフトをどちらかの方向へ回転させてください。

ウォータークラフトはどちらかの方向へ回転します。

ウォータークラフトが 水没したとき

エンジンの損傷を最小限にとどめるため、できるだけ早いうちに次の手順を行ってください。

ビルジの排水を行ってください。

塩水に沈んだ場合は、散水用ホースを使ってビルジとすべてのコンポーネントを真水で洗い流し、塩水による腐食を防いでください。

注意: 沈んだウォータークラフトのエンジンのクランキングや始動を試みないでください。水がエンジンに流れ込んで、エンジンコンポーネントの重大な損傷の原因になることがあります。

できるだけ早くウォータークラフトを Sea-Doo 認定ディーラーに持ち込んで、整備を依頼してください。

注意: 整備を受けるまでに経過した時間が長ければ長いほど、危険とエンジンの損傷の深刻さはひどくなります。

エンジン内に水を吸い 込んだとき

数時間以内にエンジンを整備できない場合、スパークプラグケーブルを取り出して、接地デバイスで接続します。

警告

スパークプラグケーブルが接地デバイスに接続されていない場合は、エンジンをクランキングしないでください。エンジンをクランキングする際には注意してください。スパークプラグホールから水が噴き出します。

スパークプラグを取り外して、清潔で乾いた布で拭いて乾かします。

スパークプラグホールをウエスなどでカバーします。

エンジンを始動するときに燃料が噴射されるのを防ぎ、点火をカットするために、次の手順を行ってください。

エンジンが止まっている状態でスロットルレバーをいっぱいまで押し、クランキングをしている間、スロットルを開いたままで保持します。

注記: 1秒毎に1秒間のビーブ音は、ドラウンドモードが有効であることを示します。

エンジンのクランキングを数回行って、スパークプラグ開口部から水を逃します。

スロットルレバーを戻します。

水が完全に排出されない場合、水がスロットルボディから出るようエアインテークサイレンサーを取り外して船体を傾けることが必要な場合があります。

スパークプラグホール内に XP-S ルーブ潤滑剤または同等品をスプレーしてください。

エンジンをもう一度クランキングします。

スパークプラグを取り付けてください。可能であれば、きれいで乾燥したスパークプラグを取り付けてください。ケーブルを再接続します。

警告

スパークプラグケーブルを元と同じスパークプラグに常に再接続します。

エンジンを通常のように始動します。

プラグがかぶってしまったとき

何度か試みてもエンジンが始動しない場合は、プラグがかぶった可能性があります。

エンジンを始動するときに燃料が噴射されるのを防ぎ、点火をカットするために、次の手順を行ってください。

エンジンが止まっている状態でスロットルレバーをいっぱいまで押し、クランキングをしている間、スロットルを開いたままで保持します。

エンジンを約 5 秒間クランキングします。

注記: 1 秒毎に 1 秒間のビーブ音は、ドラウンドモードが有効であることを示します。

スロットルレバーを戻して、エンジンをもう一度クランキングして、始動します。

それでもかからない場合:

スパークプラグケーブルを取り出して、接地デバイスで接続します。

警告

スパークプラグを取り外したときは、必ずスパークプラグケーブルの接地デバイスを使用してください。スパークプラグケーブルが接地デバイスに接続されていない場合は、エンジンをクランキングしないでください。

スパークプラグを取り外して、ウエスで拭いて乾かします。

スパークプラグホールをウエスなどでカバーします。

エンジンのクランキングを数回行ってください。

スパークプラグを取り付けてください。可能であれば、きれいで乾燥したスパークプラグを取り付けてください。ケーブルを再接続します。

警告

スパークプラグケーブルを元と同じスパークプラグに常に再接続します。

前述の手順に従って、エンジンを始動してください。やはり同じようにプラグがかぶってしまう場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

燃料切れ

DI モデル

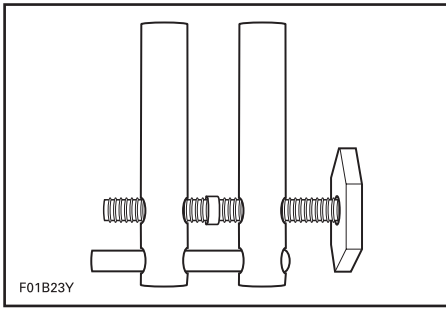
燃料切れでエンジンが回っているとき、燃料タンク補給後、最初に燃料システムに供給するため、セーフティランヤードの取り外しと取り付けを 2-3 回行うことが必要な場合があります。

水上でのウォータークラフトの曳航

Sea-Doo ウォータークラフトを水上で曳航するには、いくつかの特別な注意を払う必要があります。

推奨される最大曳航速度は、24 km/h (15 MPH) です。

あなたのウォータークラフトを水上で曳航する場合は、大型ホースピンチャーを使って、インペラーハウジングからエンジンにつながるウォーターサプライホースをつまんでください (P/N 529 032 500)。

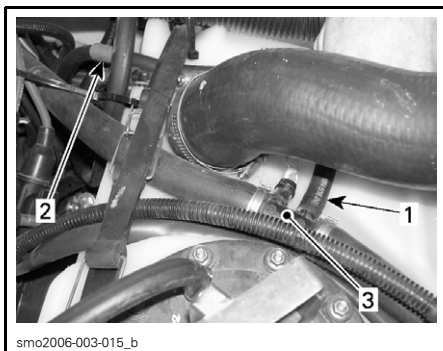


これによって、冷却システムに水が溜まり、さらにその水がエキゾーストシステムに流れ込んで、シリンダに戻ることを防げます。エンジンが回っていないときは排気の圧力がなく、エキゾーストアウトレットから水を排出できないためです。

注意: これを行わないとエンジンに損傷を及ぼすおそれがあります。自力で動けなくなったウォータークラフトを曳航しなければならないとき、手元にホースピンチャーがない場合は、最大曳航速度の 24 km/h (15 MPH) よりずっと低い速度を維持してください。

写真に示すように、給水ホースにホースピンチャーを確実に締め付けます。

注記: ウォーターサプライホース上の赤いテープはピンチするホースを示します。



1. ウォーターサプライホース
2. ホースピンチャーをここに取り付け
3. Tフィッティング

注意: ウォータークラフトの曳航が終ったら、使用する前に必ずホースピンチャーを外してください。これを外し忘れるとエンジンに重大な損傷を与えます。

バッテリーの電圧低下

Sea-Doo 認定ディーラーにて、バッテリーの充電または交換を行ってください。

⚠ 警告

バッテリーをウォータークラフトに取り付けたまま、充電またはブーストしないでください。電解液は有毒で危険です。目に入らないように、また皮膚や衣服に触れないように注意してください。

メンテナンス

排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理は、船舶用SI（スパーキグニッション）エンジンの修理工場または個人なら誰でも実施できます。

エンジンの排出ガスに関する情報

製造者の義務

1999年型以降のエンジンについて、船舶用エンジンのPWC製造者は各排出物の出力分類に応じて有害排出物レベルを測定し、アメリカ合衆国環境保護局（EPA）によるエンジン認証を受けなければならない。これに伴い、有害排出物のレベルとエンジンの仕様を、製造者の排出ガス制御情報ラベルを、製造の時点で船に貼付しなければなりません。

ディーラーの義務

排出ガス制御情報ラベルを貼付された1999年型以降のすべてのSea-Dooウォータークラフトの整備を行う場合、各部の調整はメーカー指定の公表された仕様値以内でなければなりません。

排出ガス関連コンポーネントの交換または修理は、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持できるようにする方法で行われなければなりません。

ディーラーでは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を行ってはけません。

高度調整などのように、メーカーの指示による変更は例外とします。

所有者の義務

所有者 / オペレーターには、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持するためのエンジンのメンテナンス実施が要求されます。

所有者 / オペレーターは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を自ら行ったり、誰かに行わせたりしてはいけません。

EPA 排出ガス規制

Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) が製造した1999年型以降のすべての新しいSea-Dooウォータークラフトは、ウォータークラフト用エンジンの大気汚染防止のための規則の要求事項に適合した製品として、EPAの認証を受けています。この認証は特定の調整箇所をメーカーの基準値に合わせることを条件としています。このため、製品の整備に関するメーカーの指定手順は厳密に守られなければならない。現実的に可能な限り、設計の当初の意図に忠実な形で行われなければなりません。

以上に挙げたそれぞれの義務は概説的なものでしかなく、船舶用エンジンの有害排出物に関するEPAの要求事項に関連した規則と規制の完全な一覧ではありません。この件についてより詳しい情報をお求めの場合は、下記にお問い合わせください：

すべての国際郵便を利用の場合：
U.S. Environmental Protection Agency
Office of Transportation and Air Quality
1310 L Street NW
Washington, DC 20005

合衆国郵便サービスをご利用の場合：
1200 Pennsylvania Ave. NW
Mail code 6403J
Washington, DC 20460

EPAのインターネットウェブサイト：
<http://www.epa.gov/otaq>

EPAのE-MAIL：
otaqpublicweb@epa.gov

一般的注意

この安全のセクションで詳しく解説された整備手順のみを実施してください。詳細については、Sea-Doo認定ディーラーにお尋ねください。多くの場合、そうした整備や修理の作業を行うには、適切な工具と訓練が要求されます。

ウォータークラフトと各装置は常に最高の状態に維持してください。指定されたメンテナンス・スケジュールを守ってください。ウォータークラフトの「12ヶ月安全点検」をお受けになることをお勧めします。

スパークプラグを取り外したときは、必ずスパークプラグケーブルの接地デバイスを使用してください。

ビルジにはオイル、水またはその他の異物がないようにしてください。

専用の装置を使用せず、訓練も受けずにウォータークラフトを吊り上げようとししないでください。

このガイドで取り扱っているエンジンとその関連コンポーネントを、当初の設計で意図されている製品以外に転用しないでください。メンテナンスの手順と指定された締め付けトルク値は厳密に守ってください。適切な工具がないときには修理を試みないでください。このウォータークラフトは、メートル法によって作られた部品と英国式規格の部品の両方を採用して設計されています。ねじなどの締め付け具を交換するときは、必ずBRP推奨品を使用してください。さらに詳しい整備情報が必要な場合は、Sea-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンスチャート

定期点検

どんな機械製品にも定期的なメンテナンスが必要です。定期点検は製品の寿命を伸ばします。

次のメンテナンスチャートは、あなたや Sea-Doo 認定ディーラーによって行われるべきウォータークラフトの定期点検整備スケジュールの指針となるものです。このスケジュールは、使用条件や用途に応じて調整する必要があります。

重要: レンタル用のウォータークラフトや実使用時間が長い場合は、より頻繁な点検とメンテナンスが必要になります。

メンテナンスは非常に重要です。安全な整備方法や調整手順に精通していないなら、Sea-Doo 認定ディーラーにお尋ねください。

注記: 一部の項目は使用前の点検に含まれており、このチャートでは重複を避けているものもあります。

定期点検チャート						
A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 T: タスクを実行します	最初の10時間					
	25時間または3ヶ月ごと					
	50時間または6ヶ月ごと					
	100時間または1年ごと					
	実施者					
部品/タスク						説明
全般						
潤滑 / 腐食防止	T ⁽¹⁾		T		オペレーター	(1) 塩水使用では10時間ごとに。
エンジン						
サポートおよびラバーマウントの状態	I		I		ディーラー	(5) 排出ガス関連コンポーネント。 (4) 350時間または5年ごとに点検。
シール類と締め付け具類の状態	I		I		ディーラー	
エキゾーストシステムの締め付け具 ⁽⁵⁾	I		I		ディーラー	
レイブバルブ ⁽⁵⁾			C	C	ディーラー	
トップエンド(漏れテスト、ピストンとリングのクリアランス) ⁽⁵⁾			T ⁽⁴⁾		ディーラー	
カウンタバランスシャフトオイルレベル			I	I	ディーラー	
スパークプラグ ⁽⁵⁾	I		R		ディーラー	
イグニッションタイミング ⁽⁵⁾			T ⁽⁴⁾		ディーラー	

定期点検チャート

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換
T: タスクを実行し
ず

最初の10時間

25時間または3ヶ月ごと

50時間または6ヶ月ごと

100時間または1年ごと

実施者

部品/タスク

説明

冷却システム

フラッシング		T ⁽³⁾			オペレーター	(1) 塩水使用では10時間ごとに。 (3) 塩水または汚れた水で使用する場合は毎日フラッシング。
ホースの状態と締め付け具	I		I		ディーラー	
エンジンドレンチューブ		I ⁽¹⁾			オペレーター	
エアインテークサイレンサーの取り付け / 締め付け	I			I	ディーラー	

燃料システム

スロットルケーブル	I, A, L ⁽¹⁾			I, A, L	ディーラー	(1) 塩水使用では10時間ごとに。 (5) 排出ガス関連コンポーネント。 (8) 250時間で交換。 (6) 塩水使用。
インライン燃料フィルタ	I ⁽⁸⁾	I			ディーラー	
シリンダーヘッドとインジェクター間のオイル漏れ ⁽⁵⁾	I		I		ディーラー	
エンジンマネジメントシステムセンサー(TPSを除く)と燃料インジェクター ⁽⁵⁾	I			I	ディーラー	
スロットルボディとTPS ⁽⁵⁾	I		I ⁽⁶⁾		ディーラー	
燃料ライン、接続部、チェックバルブ、圧カリリーフバルブ、燃料システムの加圧 ⁽⁵⁾	I	I			ディーラー	
エア/燃料レールとフィッティング ⁽⁵⁾	I		I		ディーラー	
燃料タンクストラップ	I			I	ディーラー	

潤滑システム

オイルインジェクションポンプ ⁽⁵⁾	I			I	ディーラー	(5) 排出ガス関連コンポーネント。
オイルライン	I	I			ディーラー	
オイルフィルタ	I	I		R	ディーラー	
オイルリザーバストラップ	I				オペレーター	

定期点検チャート

A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 T: タスクを実行しま す	最初の10時間					
	25時間または3ヶ月ごと					
	50時間または6ヶ月ごと					
	100時間または1年ごと					
	実施者					
部品/タスク					説明	

電気システム

電気系コネクター類の状態と締め付け、イグニッションシステム、エレクトリックボックス、始動システム					ディーラー	—
MPEM 取り付けブラケット/ファスナー					ディーラー	
デジタルエンコードセキュリティシステムとセイフティランヤード / ポストの状態					ディーラー	
モニターブザー					ディーラー	
バッテリー、ブラケット、ファスナー					ディーラー	

ステアリングシステム

ステアリングケーブル					ディーラー	—
ステアリングボール					ディーラー	
ハンドルバーとアジャスタの作動					ディーラー	
“モト”シート					ディーラー	

O.T.A.S. システム

O.T.A.S. システムの作動					ディーラー	
------------------	--	--	--	--	-------	--

推進システム

定期点検チャート						
A: 調整 C: 清掃 I: 点検 L: 潤滑 R: 交換 T: タスクを実行し す	最初の10時間					
	25時間または3ヶ月ごと					
	50時間または6ヶ月ごと					
	100時間または1年ごと					
	実施者					
部品/タスク						説明
ドライブシャフト保護ベローズ			I ⁽²⁾		ディーラー	(2) これらの項目は 25時間使用後に最 初の点検を行う必要 があります。それ 以降はこのチャーター 指定された間隔で整備 を行ってください。 (11) 150時間ごとに交換。
シールキャリア	L	L			オペレーター	
ドライブシャフトインペラ スブライン			L		ディーラー	
VTS(可変トリムシステム)	I		I		ディーラー	
ジェットポンプリザーバーオ イル	R	I	R		ディーラー	
ジェットポンプカバープッ シャー			I		ディーラー	
インペラーシャフトシール				R ⁽¹¹⁾	ディーラー	
インペラーの状態とインペラー / ウエアリングのクリアランス			R ⁽²⁾		ディーラー	
ウォーターインテークグレート	I		I ⁽²⁾	I	オペレーター	
船体とボディ						
ドレンプラグ(ビルジ内)の詰ま りの点検	I			I	オペレーター	—
カートシート(装備されている 場合)	I		I		オペレーター	
船体(ハル)	I			I	オペレーター	

メンテナンス

警告

このガイドで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れられていないコンポーネント/システムについては、定期的に Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼されることをお勧めします。指定のある場合を除いて、すべてのメンテナンス手順はエンジンを停止し、セーフティランヤードをポストから外してから行わなければなりません。エンジンコンパートメント内の部品は、高温になる場合があります。ジェットポンプまわりのコンポーネントやステアリングボールを、ウォータークラフトの吊り上げに利用しないでください。

潤滑

シールキャリア

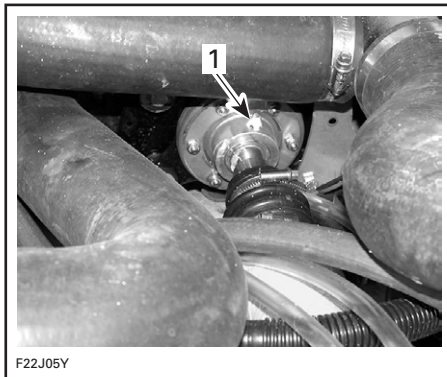
Sea-Doo 化学合成グリースまたは同等品を使用します。

リアアクセスカバーを取り外して、シールキャリアにアクセスします。



1. リアアクセスカバー

グリースガンを使用して、中間ベアリングのシールキャリアをグリースがシールから出るまで潤滑します。



1. 中間ベアリングのシールキャリアにグリースを塗る

取り外した部品すべてを正しく取り付けます。

腐食防止のための保護

スロットルケーブル

XP-S ループ潤滑剤または同等品を用いて、スロットルケーブルを潤滑してください。

電気系の接続部

必要に応じて、バッテリーポストや露出しているすべての配線コネクタに、誘電性グリースのような腐食防止剤を塗布してください。

注意: 電子モジュールのコネクタには潤滑剤を塗らないでください。

補助的な潤滑

XP-S ループ潤滑剤または同等品は、金属製部品の腐食防止と可動機構部の正常な作動の維持に役立ちます。

警告

セーフティランヤードポストは潤滑しないでください。

スロットルボディとオイルインジェクションポンプ

スプリング、シャフト、ケーブルの露出部分に潤滑します。

スロットルケーブルの点検

スロットルケーブル

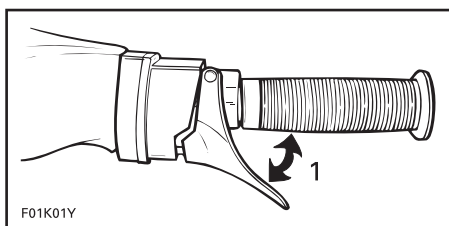
スロットルレバーを押して、放してください。レバーはスムーズに動き、引っかかりからずに元の位置に戻らなければなりません。調節可能な各ハンドルバー位置のテストを繰り返します。必要があれば、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

⚠ 警告

スロットルケーブルの調整や取りまわしを変更しないでください。

⚠ 警告

スロットルレバーが元の位置に自然に戻らないときは、ウォータークラフトを使用せず、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。



1. 自由に動くこと

燃料噴射システム

燃料噴射システムの点検はSea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

注意: インジェクター洗浄製品を使用しないでください。インジェクターコンポーネントを損傷する添加剤が含まれている場合があります。

アイドルリング回転数

アイドルリング回転数はMPEMによって制御され、調整できません。

注意: 工場で校正されているので、アイドルリング回転数スクリューを調整しようとししないでください。

燃料フィルターと オイルフィルター

インライン燃料フィルタとオイルフィルターの交換は、Sea-Doo スポーツボート認定ディーラーに依頼してください。同時に燃料システムの加圧テストも実施してもらってください。

注意: オイルフィルターが詰まるとオイルが供給されなくなり、エンジンに重大な損傷を招く結果となります。

ステアリングアライメント

ハンドルバーが直進の位置にあるとき、ジェットポンプノズルも同じ方向を向いて、ウォータークラフトがまっすぐ進むようになっていなければなりません。

調整が必要な場合、Sea-Doo 認定ディーラーに依頼してください。

⚠ 警告

ハンドルバーとジェットポンプノズルが端から端まで自由に動き、ステアリングケーブルやブラケットに無理な力が加わっていないことを確認してください。誰かがウォータークラフトの後部付近にいるときは、絶対にハンドルバーを回さないでください。ステアリングシステム部品（ノズル、リンクage等）には人を近づけないでください。

ステアリングポール

最初に、“モト”シートの格納を確認します。

ステアリングポールを上下に移動します。自由にまた引っかけられなくスムーズに動かなければなりません。動きが悪い場合、ステアリングポールを真水でよくすすいで、XP-S ループで潤滑します。それでも固い場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。ステアリングポールが重たい場合、伸縮バネで調整できます。操縦装置、各コンポーネントと計器類を参照してください。効果がなければ、バネが破損している可能性があります。



1. ステアリングポール

ステアリングポールを最低位置に降ろし、左右に動かして、余分な遊びを発見します。



警告

上記のいずれかのテストを失敗した場合、ウォータークラフトを操縦しないで、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

ハンドルバーとアジャスタの作動

ハンドルバーを各位置に動かしてください。動きは滑らかで、所定位置でロックするはずですが、ハンドルバーの動きが悪い場合(上下)、プラスチックキャップを取り外して、機構を真水でよくすすいで、XP-S ループで潤滑します。それでも固い場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。ハンドルバーに余分な遊びがないことを確認します。

警告

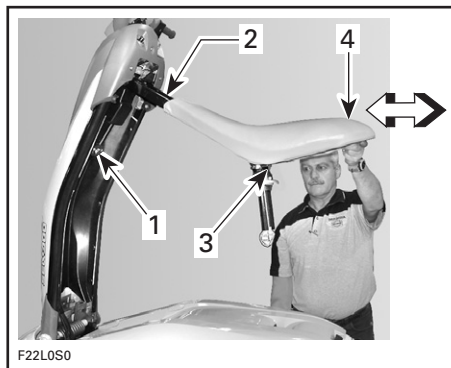
上記のいずれかのテストを失敗した場合、ウォータークラフトを操縦しないで、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

“モト”シート

シートがステアリングポールに正しくラッチされていることを確かめます。ラッチ機構の磨耗を点検します。

シートを取り出します。回す間、シートが自由に動くことを確認します。横に余分な遊びがないか点検します。

シートのシートポストの余分な遊びも確認します。



1. ラッチ機構
2. シート構造
3. シートポストの遊びを点検する
4. シート構造の横の遊びを点検する

デッキでシートポストレシーバーを点検します。泥、砂、その他の異物を点検します。磨耗がないか点検します。カバーが自由に動くことを確認します。

レシーバーにシートポストを取り付け、正しくクランチされたことを確認します。ラッチ機構の磨耗を点検します。ラッチを解除せずに、ポストを引きます。

⚠ 警告

上記のいずれかのテストを失敗した場合、“モト”シートを使用しないで、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

カートシート (装備されている場合)

シートタブとアンカープレートに磨耗や破損がないかを点検します。ラッチ機構の磨耗を点検します。ラッチを解除せずに、シートを引きます。



1. シートタブとアンカープレートを点検する
2. ラッチ機構を点検する

⚠ 警告

上記のいずれかのテストを失敗した場合、カートシートを使用しないで、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

O.T.A.S.™ システム

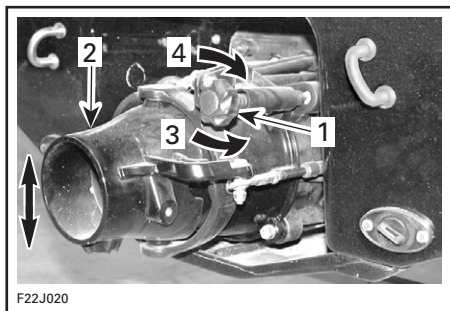
このウォータークラフトのテストは水上で行います。

進路前方の視界が良いことを確認します。ウォータークラフトを航行して、予定速度に上げます (4000 RPM 超過)。そしてスロットルレバーを放します。3秒内でハンドルバーを一方に最後まできります。エンジン回転数が上昇します。上昇しない場合、テストを繰り返し、スロットルを戻した後早めにハンドルバーをまわします。それでも回転数が上昇しない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

VTS の調整

ノズルが最高位置に届くように、アジャスタノブを回します。最低位置に届くように、アジャスタノブを反対方向に回します。

ノズルはベンチュリと干渉することなく、上下移動するはずですが。



1. アジャスタノブ
2. ノズルが上下移動する
3. ノズルを上げる
4. ノズルを下げる

注意: トリムリングおよび / または ノズルがどの位置にあっても、他の部分と干渉しないはずです。

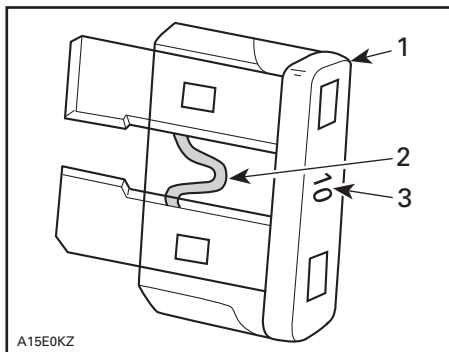
干渉する場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

ビルジドレンプラグ

ドレンプラグは、エンジンが回っているときにジェットポンプの負圧部分を利用して、ビルジから水を吸い上げています。各ピックアップの網が目詰まりしていないか点検し、必要があれば清掃してください。

ヒューズ

電気系に問題が生じたときはヒューズを点検してください。ヒューズが溶けている場合は、同じ定格値のヒューズと交換します。次の手順に従ってください。



1. ヒューズ
2. 溶けていないか確認
3. 定格アンペア値

警告

本来のヒューズより定格値の高いものを使わないでください。ヒューズが切れた場合はエンジンを再始動する前に不具合箇所を特定し、その原因を取り除いてください。Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

ヒューズはエンジンコンパートメント内の MPEM にあります。

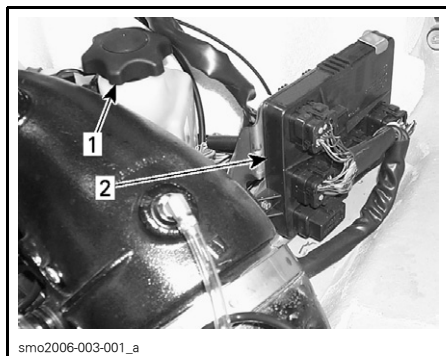
ヒューズにアクセスするには、エンジンカバーを取り外して、ステアリングポールを立てた状態でホルダーでロックします。

警告

エンジンカバーを取り外した後すぐに、ステアリングポールホルダーを取り付けて、エンジンコンパートメント内で作業するときポールをしっかりと支えます。

MPEM

MPEM はエンジン前面にあります。

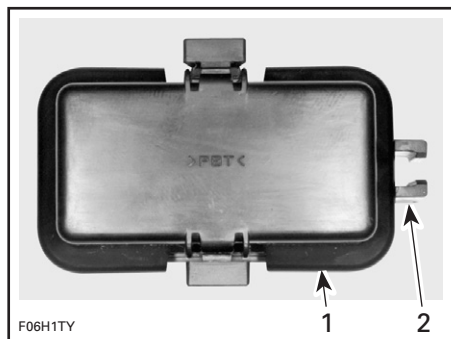


smo2006-003-001_a

1. オイルタンク
2. MPEM

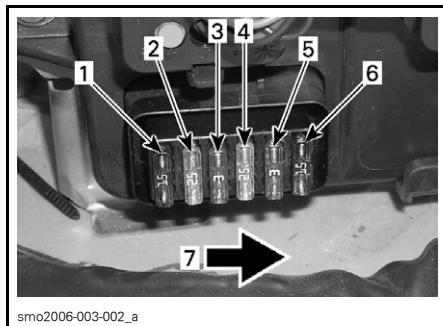
MPEM からヒューズカバーを外します。

ヒューズカバーのタブを使用して、ヒューズの取り外しと取付を行います。



F06H1TY

1. ヒューズカバー
2. ヒューズタブ



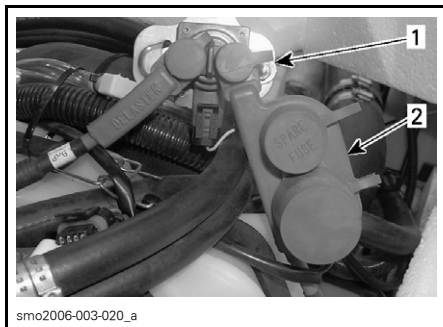
smo2006-003-002_a

ヒューズの識別

1. 15 A、インジェクションシステム
2. 25 A、バッテリー
3. 3 A、スベア(未使用)
4. 25 A、レギュレータ(充電システム)
5. 3 A、ビルジポンプ
6. 15 A、燃料ポンプ
7. 船体前方

他のヒューズ

メインヒューズは電源カットオフリレー内にあります。



smo2006-003-020_a

1. スターターリレー
2. 30 A、メインヒューズ

全体の点検と清掃

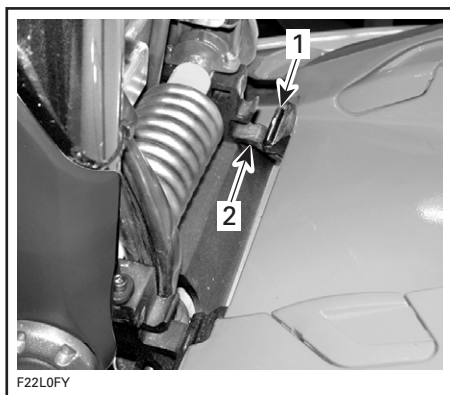
点検

エンジンカバーを取り外して、ステアリングポールを立てた状態でホルダーでロックします。

警告

エンジンカバーを取り外した後すぐに、ステアリングポールホルダーを取り付けて、エンジンコンパートメント内で作業するときポールをしっかり支えます。

エンジンカバータブとC-フック、ラッチの状態を点検します。



1. タブ
2. C-フック

注記: エンジンカバー用のラッチピンが船体に締め付けられているかを定期的に確認します。必要があれば調整し、エンジンカバーのラッチが正しくかかることを確かめてください。

エンジンコンパートメント内に損傷や、燃料/オイルインジェクションシステムからの漏れがないか点検してください。すべてのホースクランプがしっかり固定されているか、ホースにひび割れ、よじれ、あるいはその他の損傷がないかを確認してください。

警告

ガソリン漏れがあったりその臭気を感じられる場合は、エンジンを始動しないでください。Sea-Doo認定ディーラーで整備を受けてください。

マフラー、バッテリー、燃料タンク、オイルリザーバーの各固定機構を点検します。電気配線の接続部に腐食がないか、そしてしっかり接続されているかを目視点検してください。

船体とジェットポンプのウォーターインテークプレートに損傷がないか点検します。損傷した部品は交換するか、修理を受けてください。

エンジンカバーをもう一度取り付け、正しくラッチしてください。

清掃

ビルジの清掃は Sea-Doo 認定ディーラーに依頼して、燃料 / オイル / 電解液の堆積物やカビを取り除いてもらってください。

時々ボディを石鹼水（強い洗剤は使用しないでください）で洗ってください。エンジンおよび / または船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。シリコンワックスなど、研磨剤のっていないワックスを塗布します。

注意: ファイバーガラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを使用しないでください。

エンジンカバー、ステアリングポールノーズとトップピースをクリーニングするには、フランネルの布または同等品だけを使用してください。



1. エンジンカバー、ステアリングポールノーズとトップピース

注意: クリーニングする表面の損傷を避けるため、エンジンカバー、ステアリングポールノーズとトップピースをクリーニングするには、フランネルの布または同等品だけを使用してください。

エンジンカバー、ステアリングボールノーズとトップピースの傷を取り除くため、BOMBARDIER* Scratch Remover キット (P/N 861 774 800) を使用します。

注記: 傷とり製品を使用するときは、仕上げた部分の光沢が失われることに注意してください。

注意: プラスチック製の部品やエンジンカバーの清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトン、塩素入り製品などを使用しないでください。

カーペットをクリーニングするには、3M™ シトラスベースのクリーナー (24 oz スプレー缶) または同等品を使用してください。

シートやファイバーグラス部分の汚れは、Korkay Systems Ltd の「ナイツスプレー ナイン」[†] またはその同等品で取り除けるかもしれません。

環境を守るため、燃料、オイル、洗浄用溶剤などを水路に流さないでください。

トレーラーでの運搬、保管、シーズン前の準備

トレーラーでの運搬

オイルリザーバーと燃料タンクキャップが取り付けられ、しっかり締められていることを確認します。

警告

このウォータークラフトを直立させて運搬するのはやめてください。通常の使用時の姿勢で運搬することをお勧めします。

地域で適用される法律と規則、特に次の点に関する規則を確認してください：

- ブレーキシステム
- 牽引車両の重量
- バックミラー。

ウォータークラフトを牽引トレーラーで運搬する場合は、次の点に注意してください：

タイダウンベルトを使用して、ウォータークラフトを前後（バウ/スターン）のアイレットをトレーラーにしっかり固定してください。必要があれば、さらに追加のタイダウンベルトを使用してください。

注意：カートシート（装備されている場合）または“モト”シートの上にロープやタイダウンベルトをかけないでください。これらの部分が損傷するおそれがあります。ウォータークラフトのボディ上では、ロープやタイダウンベルトをプロテクターとしてウエスなどで包んでください。

エンジンカバー、カートシート（装備されている場合）または“モト”シートが正しくラッチされていることを確認します。

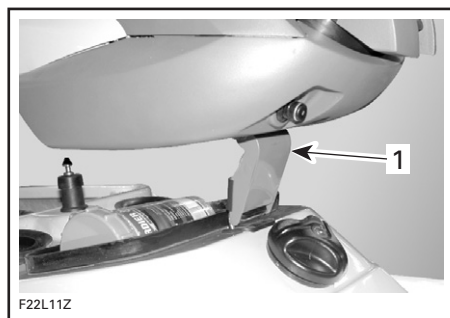
警告

牽引する前に、カートシート（装備されている場合）または“モト”シートが正しくラッチされていることを確認します。

特に未舗装路を走る場合には、Sea-Doo カバーを用いると、ウォータークラフトを保護することができます。エアインテークの開口部から砂ボコリが入ることを防止できます。さらに、カバーはステアリングポールが動かないよう固定します。

カートシートモード （装備されている場合）

Sea-Doo カバーを使用しない場合、輸送中動かないようにステアリングポールをロックしてください。そのためにステアリングポールリテーナーを使用します。



1. ステアリングポールリテーナーをロックする

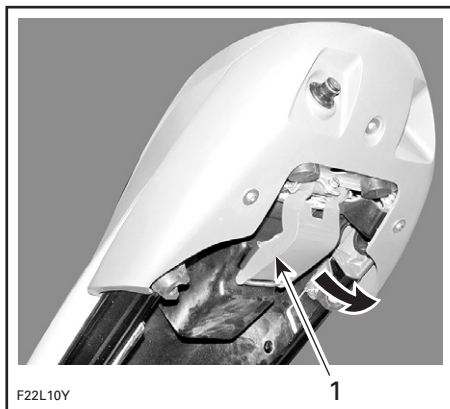
注意：ステアリングポールを正しく固定しないでウォータークラフトをトレーラー運搬するなら、コンポーネントが損傷するおそれがあります。

“バート”モード

Sea-Doo カバーを使用しない場合、輸送中縦に動かないようにステアリングポールを固定してください。

ポストリテーナー装備のモデル

リテーナーをステアリングポールから引き出し、所定位置にポールを降ろす間そのままにします。

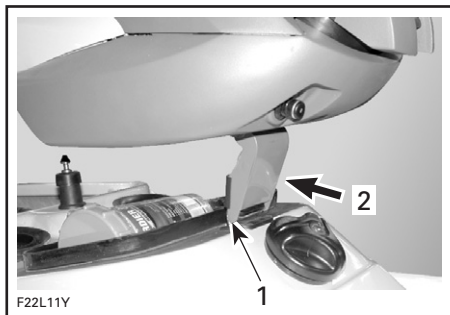


F22L10Y

1

1. リテイナーを引き出す

リテイナーがボディーのフックに挿入可能となるまで、ステアリングボールを降ろし続けます。次に、リテイナーを押して所定位置でロックします。



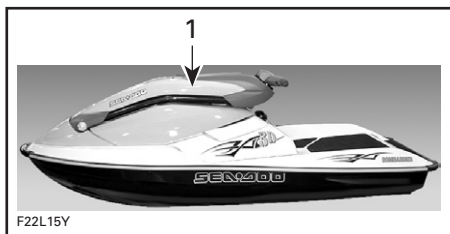
F22L11Y

1

2

1. ボディーのフックにリテイナーの位置を合わせる
2. 押してロックする

ポストリテイナー未装備のモデル
図のように、バンジーコードを使用し、ウエスで包みます。



F22L15Y

1. ここでステアリングボールを縛る

注意: ステアリングボールを正しく縛らないでウォータークラフトをトレーラー運搬するなら、ウォータークラフトが損傷するおそれがあります。

トレーラー牽引の安全に関する注意事項を常にご確認ください。

進水 / 積み込み

注意: ウォータークラフトを水に浮べる前に、ビルジのプラグが取り付けられ、完全に締まっていることを確認してください。ウォータークラフトをトレーラーに積み込んだ後は、ドレンプラグを外してビルジ内の水を排出してください。

保管

⚠ 警告

燃料とオイルは可燃性です。定期点検チャートでも指定されているように、燃料システムの機能の点検はSea-Doo認定ディーラーにご依頼ください。

長期保管の前には、Sea-Doo認定ディーラーでウォータークラフトの整備を受けることをお勧めしていますが、次のような作業はあなた自身が最小限の工具で実施できます。

注意: 保管中はエンジンをかけないでください。

ボディの洗浄 / 修理

ボディを石鹼水 (強い洗剤は使用しないでください) で洗います。洗った後は真水でよくすすいでください。船体に付着した海洋微生物を取り除いてください。

注意: ファイバーグラス製やプラスチック製の部品の清掃には、強い洗剤、脱脂剤、塗装用シンナー、アセトンなどを使用しないでください。

ゲルコート部分の修理については、Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。傷んだラベルやデカールは交換してください。

推進システム

ジェットポンプリザーバーの潤滑剤を排出して、リザーバーをクリーニングします。この作業については、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

メンテナンス セクションで解説したように、推進システムの潤滑ポイントにグリースを塗ります。

燃料システム

Sea-Doo ガソリン安定化剤（または同等品）を燃料タンクに注入すると、ガソリンの劣化とゴム質の堆積を防止できます。正しい使い方については、製造業者の使用上の注意に従ってください。

注意：燃料システムをニス状の堆積物から保護するため、ガソリン安定化剤はエンジンの潤滑を行う前に添加してください。

警告

給油を行う前に必ずエンジンを止めてください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。つねに換気のよい場所で作業を行ってください。近くで喫煙したり、裸火や電気スパークを近づけたりしてはいけません。燃料タンクに圧力がかかっている場合がありますので、キャップを開けるときにはゆっくりと回してください。裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。給油中はウォータークラフトを水平に保ってください。燃料を入れすぎないようにし、給油口ぎりぎりでガソリンを入れた状態で、ウォータークラフトを日の当たる場所に長時間置かないようにしてください。温度の上昇と共にガソリンが膨張して、オーバーフローすることがあります。給油時にこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。定期的に燃料系を点検しましょう。

冷却システムのフラッシングとエンジン内部の潤滑

使用後の手入れの手順を参照してください。

バッテリー

Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

不凍液の劣化防止

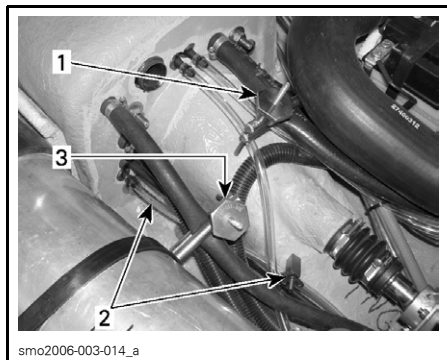
氷点下になる可能性のある寒冷地帯では、冷却システムは不凍液またはレクレーションボート用不凍液で満たされていなければなりません。

注意：冷却システムには、不凍液を注入します。この手順を守らないと、残留している水が凍結します。この作業には、冷却システムに関する優れた技術知識が必要です。凍結防止が正しく行われなければ、エンジン/エキゾーストシステムに残留している水が凍結し、重大な損傷を起こすおそれがあります。この作業は、Sea-Doo 認定ディーラーに依頼することを勧めます。

注記：この手順には、不凍液が最低 4 L (4.2 U.S. qt) 必要です。

準備

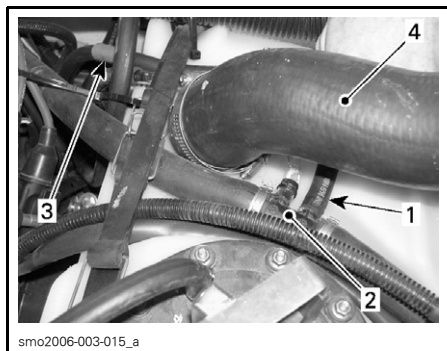
冷却システムジャケットを不凍液で満たす前に、排水を防ぐためにつなぐ必要があるホースもあります。次の場所にホースピンチャーを取り付けます：



1. ウォーターインレットホース
 2. エンジンシリンダドレンホース(エンジン下部より)
 3. 同調パイプ下のウォーターアウトレットホース

ホースの取り外し

ウォーターサプライホース(赤色テープで識別)をT-フィッティングから外します。



1. ウォーターサプライホース(赤色テープで識別)を外す
 2. T-フィッティング
 3. 赤色テープ
 4. 燃料タンク補給ホース

長さ約 61 cm (2 ft) 内径 12.7 mm (1/2 in) のホースをT-フィッティング上(以前外したホースと同じ場所)に一時的に取り付けます。

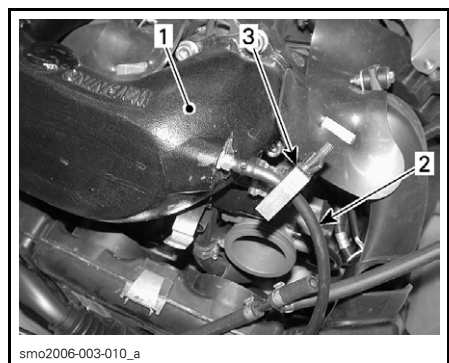
エンジンブリーディング

じょうごを仮設ホースに挿入します。不凍液を注入するとき、じょうごをデッキより約 61 cm (2 ft) 上にすると、不凍液の流れがよくなるよう圧力がかかります。



- 代表的な例
 A. 不凍液の流れが良くするための高さ 61 cm (2 ft)

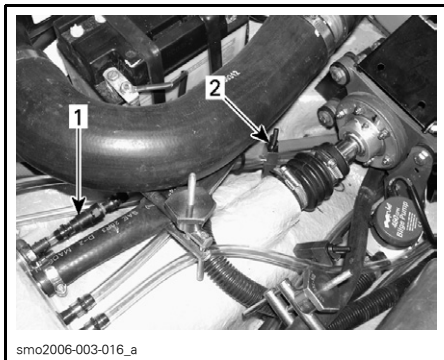
冷却システムのブリードアウトレットに有色溶液が見えるまで、不凍液混合をエンジンに注ぎます。この時点で、ブリードアウトレットホースにホースピンチャーを取り付けます。



1. ヘッドパイプ
 2. ブリードアウトレットホース
 3. ホースピンチャー

マグネトブリーディング

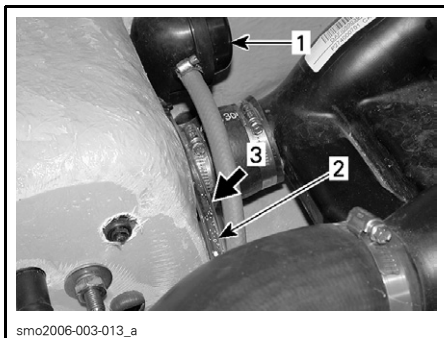
エンジンマグネトドレンホースに不凍液が現れるまで、注入します。次に、このホースにホースピンチャーを取り付けます。



1. エンジンマグネトードレンホース
2. ホースピンチャー

エンジンコンプレッサーブリーディング

コンプレッサーウォーターアウトレットホースに不凍液が現れるまで、注入します。



1. 雑音抑制器
2. エアコンプレッサーウォーターアウトレットホース
3. 不凍液の色を見る

コーンパイプブリーディング

仮設ホースを以前取り付けしたT-フィッティングから外します。

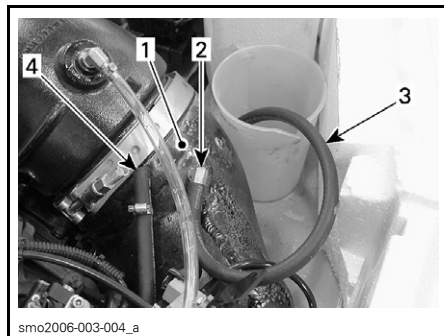
コーンパイプウォーターアウトレットホースの接続を外します。

コーンパイプウォーターアウトレットフィッティングに仮設ホースを接続します。

ホースの他端をビルジ内の小さなコンテナに挿入します。

ファクトリーウォーターサプライホース(赤色テープで識別)にじょうごを挿入します。

コーンパイプアウトレット仮設ホースから不凍液が出るまで、不凍液を注入します。



1. 同調パイプコーン
2. ウォーターアウトレット
3. 仮設ホース
4. 未接続のホース

注入を停止します。

仮設ホースをコーンパイプフィッティングから外して、ファクトリーホースを再接続します。

不凍液の流れが良くなるよう、ピンチャーをこの順番で取り外します。

注記: ホースピンチャーを外すとき、大部分の不凍液が排出されます。回収のために容器を使用してください。不凍液の処分については、地元の法令を遵守してください。

1. ブリッドアウトレットホース。
2. エンジンマグネトードレンホース。
3. エンジンシリンダドレンホース。
4. ウォーターアウトレットホース。
5. ウォーターインレットホース。

注記: 大部分の不凍液が排出されますが、ウォータージャケットに残留する水と混ざっています。これによって凍結問題を防ぎます。

シーズン前の準備で、ウォータークラフト使用前に残留している不凍液を冷却システムからフラッシングします。

ウォータークラフトをさらに確実に保護するため、次の各手順を行ってください。

ビルジを洗剤とお湯、またはビルジクリーナーで清掃します。洗った後はよくすすいでください。ウォータークラフトの前側を持ち上げて傾け、ビルジ内を完全に排水します。ボディや船体に修理が必要な場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。機械的な部分のタッチアップ塗装には、BOMBARDIER スプレーペイントをお使いください。

防蝕処理

エンジンコンパートメント内に残っている水を拭き取ってください。

エンジンコンパートメント内の金属製コンポーネントに、XP-S ループ潤滑剤または同等品をスプレーしてください。

警告

セイフティランヤードポストは潤滑しないでください。

XP-S ループ潤滑剤または同等品を用いて、スロットルケーブルを潤滑してください。

エンジンカバーとリアアクセスカバーをもう一度取り付けます。

最後に

ボディに品質の良い船舶用ワックスを塗ってください。

保管中はエンジンストレージカバーを少し開けておいてください。エンジンコンパートメントの結露と、それによる腐食の可能性を防ぐことができます。

注意: カートシートフォームの形状が恒久的に変形することを避けるため、保管中に物体を上にしたままにしないでください。

ウォータークラフトを屋外に保管する場合は、太陽光線と汚れがプラスチック製コンポーネントやウォータークラフトの仕上げを損なったり、ホコリが堆積したりするのを防ぐため、不透明な防水カバーで覆ってください。

注意: ウォータークラフトを水に浮かべたまま長期間保管しないでください。また、直射日光が当たるところでウォータークラフトを保管しないでください。ウォータークラフトをビニール製の袋で密閉しないでください。換気をするとき結露とそれによる腐食の可能性を防ぐことができます。

シーズン前の準備

次のチャートを利用してください。

一部の作業は技術的スキルと特殊工具を必要としますので、Sea-Doo 認定ディーラーに実施を依頼してください。

警告

このガイドで詳しく解説された手順のみを実施してください。このガイドで触れられていないコンポーネント / システムについては、定期的に Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼されることをお勧めします。指定のある場合を除いて、すべてのメンテナンス手順はエンジンを停止し、セイフティランヤードをポストから外してから行わなければなりません。エンジンコンパートメント内の部品は、高温になる場合があります。コンポーネントの状態がよくないと思われる場合は、BRP 純正部品または認定された同等品と交換してください。

シーズン前の準備チャート

注記: シーズン前の準備と同時に、12ヶ月安全点検とメーカーの改良キャンペーンの実施を Sea-Doo 認定ディーラーに依頼されることを強くお勧めします。

作業内容		点検項目 実施者
全般	潤滑 / 腐食防止	オペレーター
	スパークプラグ交換 ⁽¹⁾	ディーラー
エンジン	エキゾーストシステムの状態 (ファスナー、ホース等)	ディーラー
	レイバルブのクリーニング	ディーラー
	カウンタバランスシャフトオイルレベル	ディーラー
	TDC 設定	ディーラー
	エアコンプレッサー、ホースの目に見える状態。漏れを確認 注意: コンプレッサーと燃料レール間のメインホースは、高温になる場合があります。	ディーラー
冷却システム	冷却システムのホース、コンポーネントの点検	ディーラー
燃料システム	スロットル ⁽²⁾ ケーブルを点検、調整	ディーラー
	インライン燃料フィルタの交換	ディーラー
	燃料噴射システムのセンサーの確認	ディーラー
	燃料システム: バルブ、ライン、ファスナー、加圧テスト ⁽²⁾	ディーラー
	ディレクトインジェクター、漏れを確認	ディーラー
	フィルターネック、燃料タンクとキャップの状態 ⁽²⁾	ディーラー
	フレイムアレスタの点検	ディーラー
	燃料タンクストラップ	ディーラー
	燃料タンクの補給	オペレーター
潤滑システム	オイルインJECTIONポンプの調整とプリーディング	ディーラー
	オイルフィルタの交換	ディーラー
	オイルインJECTIONリザーバストラップ	オペレーター
	オイルインJECTIONリザーバー補給	オペレーター

作業内容		点検項目実施者
電気システム	バッテリーの状態 / 充電と取り付け	ディーラー
	バッテリー、スターターの接続と取りまわし ⁽²⁾	ディーラー
	モニターブザー	ディーラー
	デジタルエンコードセキュリティシステム	ディーラー
ステアリングシステム	ステアリングシステムの調整 / 点検 ⁽²⁾	ディーラー
	ステアリングボールの状態	ディーラー
	ハンドルバーとアジャスタの状態	ディーラー
	“モト”シートの状態	ディーラー
O.T.A.S. TM システム	O.T.A.S. システムの作動確認	ディーラー
推進システム	VTS (可変トルムシステム) (装備されている場合)	ディーラー
	推進システムの点検	ディーラー
	ジェットポンプオイルの交換	ディーラー
船体とボディ	ペイラーピックアップの点検	ディーラー
	カートシート (装備されている場合)	ディーラー

⁽¹⁾ 新しいスパークプラグを取り付ける前に、古いスパークプラグでエンジンを始動して、シリンダー内の余分な XP-S ルーブ潤滑剤または同等品を燃やしておくといでしょう。

⁽²⁾ 安全性に関わる項目は12ヶ月安全点検に含まれています。

トラブルシューティング

以下のチャートは、簡単なトラブルの原因を診断するときに役立つよう作られたものです。こうしたトラブルの多くは比較的簡単にご自身で解決できますが、整備技術者の専門的スキルが必要な場合もあります。そのような場合には、Sea-Doo 認定ディーラーに整備を依頼してください。

モニタリングブザーのコード化された信号

コード化された信号	考えられる原因	対策
2 回の短いピープ音 (セーフティランヤードをポストに取り付けているとき)。	セーフティランヤードの信号の作動確認。	エンジンを始動することができます。
1 回の長いピープ音 (セーフティランヤードをウォータークラフトのポストに取り付けているとき)。	DESS システムの接続不良。	セーフティランヤードキャップをポストに正しく取り付け直してください。
	不正なセーフティランヤード。	そのウォータークラフト用にプログラムされたセーフティランヤードを使用してください。
	セーフティランヤードの異常。	プログラムされた別のセーフティランヤードを使用してください。
	セーフティランヤードキャップに塩水が入り、乾いて塩の結晶ができています。	セーフティランヤードキャップを清掃して、塩を取り除いてください。
	DESS ポストの異常。 MPERM の誤作動または配線ハーネスの異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
1 秒間隔で1 秒間のピープ音。	エンジンドラウンドモードが有効です。	スロットルを戻して、このモードをキャンセルします。
1 分間隔で2 秒間のピープ音。	バッテリーの電圧が極めて低い。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	クーラントおよび排気ガス温度センサーまたは TPS (スロットルポジションセンサー) または CPS (クランクシャフトポジションセンサー) の作動不良。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	MPERM 作動不良。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
15 分間隔で2 秒間のピープ音。	インジェクションオイルリザーバーのレベルが低い。	給油。
5 分間隔で2 秒間のピープ音。	燃料タンクのレベルが低い、または開回路。	給油。問題が解消されない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

コード化された信号	考えられる原因	対策
3秒間隔で4回の短いビーブ音が2時間続く。	エンジンをかけないまま、またはエンジンが停止した後、セイフティランヤードがポストに取り付けられたままになっている。	バッテリーの放電を防ぐため、セイフティランヤードをポストから外してください。
ビーブ音が鳴り続ける。	エンジンのオーバーヒート。	エンジンのオーバーヒートを参照してください。

エンジンが始動しない

その他の症状	考えられる原因	対策
エンジンがまったく回らない。	セイフティランヤードが外れている。	ポストにキャップを取り付けてください。
	MPEMでヒューズが切れている。	配線を点検し、ヒューズを交換してください。
	バッテリーが放電している。	Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	バッテリー接続部の腐食または緩み。アース不良。	Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	エンジンが水を吸った。	特殊な手順のエンジンが水を吸い込んだときを参照してください。
	センサーまたはMPEMの異常。	Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	エンジンが焼き付いている。	
エンジンがゆっくりとクラッキングする。	バッテリーケーブルの接続が緩んでいる。	点検 / 清掃 / 締め付けを行ってください。
	バッテリーが放電しているが、弱っている。	Sea-Doo認定ディーラーにご相談ください。
	スターターが弱っている。	

その他の症状	考えられる原因	対策
エンジンがクランキングする。	燃料タンクに燃料が入っていない、または水が混入している。	給油。残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を入れてください。
	燃料フィルターが詰まっている。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	スパークプラグが汚れている、またはプラグの異常。	交換する。
	プラグがかぶっている。	特殊な手順のエンジンが燃料を吸い込んだときを参照してください。
	燃料インジェクションシステムの不良コンポーネント。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	燃料ポンプヒューズが切れている。	配線を点検し、ヒューズを交換してください。
	電気系に問題。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンのミスファイア、燃料噴射の不良、不安定な回転

その他の症状	考えられる原因	対策
点火火花が弱い。	スパークプラグがかぶっている / プラグの異常 / 電極の摩滅。	交換する。
	MPEM の異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	エンジンへのオイル供給過多。	不適切なオイルポンプ調整、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
燃料のミクスチャーが薄い。	燃料: 残量が少なすぎる、または燃料が古くなっているか水が混入している。	残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。
	燃料フィルターが詰まっている。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	インジェクターの詰まり。	
燃料のミクスチャーが濃い (燃料消費量が多い)。	センサーまたは MPEM の異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	フレームアレスタの汚れ / 詰まり。	
	センサーまたは MPEM の異常。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンのオーバーヒート

その他の症状	考えられる原因	対策
監視ブザーが連続的に音を発する。	ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。	清掃してください。
	冷却システムが詰まっている。	冷却システムのフラッシングを行ってください。

エンジンが頻繁にバックファイアを起こす

その他の症状	考えられる原因	対策
点火火花が弱い。	スパークプラグがかぶっている / プラグの異常 / 電極の摩滅。	交換する。
エンジンのオーバーヒート。	エンジンのオーバーヒートを参照してください。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	スパークプラグリードまたは配線が逆。	正しい位置でスパークプラグケーブルを接続します。異物が絡んだのではない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンのピンギングまたはノッキング

その他の症状	考えられる原因	対策
	ガソリンの品質不良 / 低オクタン価。	品質が分かっている推奨ガソリンを使用してください。
	スパークプラグの熱範囲が高すぎる。	推奨スパークプラグを使用してください。
	TDC 設定	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

エンジンの加速力やパワーが不足している

その他の症状	考えられる原因	対策
	点火火花が弱い。	エンジンのミスファイア、不安定な回転を参照してください。
	燃料またはインジェクションオイルに水が混入している。	残っている燃料を吸い出して、新しい燃料を補給してください。

ウォータークラフトのエンジンの回転数をアイドリング速度以上に上げることができない

その他の症状	考えられる原因	対策
	コンポーネントに異常が発生したため、モニタリングシステムがウォータークラフトを応急帰還モードにしている。	セーフティランヤードは、ポストから取り外して、もう一度取り付けてください。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

ウォータークラフトが最高速度に達しない

その他の症状	考えられる原因	対策
	VTS(装備されている場合)は他のライディングコンディションにあわせて調整されます。	別の設定に再調整されます。
	排気ガスはビルジ内で漏れます。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
キャビテーション。	ジェットポンプのウォーターインテークが詰まっている。	清掃してください。
	インペラーの損傷。	交換する。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	ウエアリングの損傷。	交換する。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。
	セーフティランヤードが使用されており、ウォータークラフトが最高速度に達しないように制限している。	最高速度に達するよう、セーフティランヤードが使われている。
	コンポーネントに異常が発生したため、モニタリングシステムがウォータークラフトを応急帰還モードにしている。	エンジンの回転数をアイドリングに戻すため、スロットルを戻します。Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

O.T.A.S. システムの異常

その他の症状	考えられる原因	対策
スロットルレバーが戻され、ステアリングがターンするとき、エンジン回転数は上昇しません。	イベントの間違った順番またはタイミング。	メンテナンスを参照してください。それでも作動しない場合は、Sea-Doo 認定ディーラーにお問い合わせください。

推進システムからの異常な騒音

その他の症状	考えられる原因	対策
キャビテーション。	水草や異物がインペラーに絡み付いている。	清掃して、損傷がないか点検してください。
	インペラーシャフトまたはドライブシャフトの損傷。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

ステアリングポールが通常よりも重い

その他の症状	考えられる原因	対策
	ステアリングポール伸縮バネ調整。	ハンドルバーで重量を減少する用にアジャスタを設定します。ステアリングポールを参照してください。
	ステアリングポール伸縮バネが破損。	Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

ステアリングポールが通常よりも堅い

その他の症状	考えられる原因	対策
	汚れた/損傷した部品。	清掃してください。部品が損傷した場合、Sea-Doo 認定ディーラーにご相談ください。

仕様

船体		3D™ DI
エンジン		
型式		Rotax® 947 DI, 2-ストローク
吸気方式		リードバルブ
排気システム		水冷
エキゾーストバルブ		Rotax 調整可能可変エキゾースト (レイブ)
潤滑	型式	オイルインジェクション
	オイルの種類	XP-S 合成 2-ストロークオイル
シリンダ数		2
排気量		951.2 cc (58 cu. in)
ボア		88 mm (3.465 in)
ストローク		78.20 mm (3.079 in)
圧縮比(修正)		6.0:1
レブリミッターの設定		7300 ± 50 RPM
冷却システム		
型式		水冷、トータルロスタイプ。推進ユニットからの直接水流
電気システム		
マグネトージェネレータ出力		270 W @ 6000 RPM
イグニッションシステム形式		デジタル誘導
TDC 設定 (BTDC)	mm (in)	5.39 ± 0.30 (.212 ± .011) (直接) 直接インジェクションホールから測定 7.87 ± 0.30 (.310 ± .011) (間接) スパークプラグホールから測定
	度	27 ± 1.5 @ 1450 RPM
スパークプラグ	メーカーと型式	NGK, ZFR4F
	ギャップ	1.1 mm (.043 in)
始動システム		電気スターター
バッテリー		12 V, 19 A•h、電解液タイプ

船体		3D™ DI
ヒューズ	バッテリー	25 A
	レギュレータ (充電システム)	25 A
	燃料ポンプ	15 A
	インジェクションシステム	15 A
	ビルジポンプ	3 A
	スベア(未使用)	3 A
	メイン	30 A
燃料システム		
燃料	型式	無鉛レギュラーガソリン
	最小オクタン価	北米内 87 (R + M) / 2 北米以外: 91 RON
燃料噴射装置		軌道直接燃料インジェクション、ツインスロットルボデイ (46 mm (1.81 in))
アイドル回転数		調整不可
推進		
推進システム		BOMBARDIER フォーミュラポンプ
ジェットポンプ形式		軸流式、単段、ニードル・ベアリング
伝達機構		直接駆動
リバースシステム		No
O.T.A.S.™ システム		はい
VTS		ジェットポンプユニット上のアジャスタ
ピボット角 (ノズル)		~ 20°
ジェットポンプの最小必要水位		船体後部の最も低い部分から 90 cm (3 ft)
寸法		
乗員(最大許容荷重を参照)		1
全長		272 cm (107 in)
全幅		112 cm (44 in)
全高		バート: 92 cm (36.25 in) モト: 112 cm (44.25 in) カート: 96 cm (37.75 in)
重量		バート / モト: 277 kg (609 lb) カート: 284 kg (624 lb)
最大許容荷重 (乗員 + 荷物)		114 kg (250 lb)

船体		3D™ DI
容量		
燃料タンク (リザーブを含む)		35 L (9.2 U.S. gal)
燃料タンクリザーブ(残量警告シグナルから)		およそ 5 L (1.3 U.S. gal)
オイルインジェクションリザーバー		4 L (1 U.S. gal)
インペラーシャフト リザーバー	容量	100 mL (3.4 U.S. oz)
	オイルレベル	プラグ次第

Bombardier Recreational Products Inc. は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、その製品の設計や仕様の変更、追加、または改良を行う権利を留保します。

このマニュアルで使われている略語

略語	説明
AC	交流
API	アメリカ石油協会
CARB	カリフォルニア州大気資源委員会
DC	直流
DESS	デジタルエンコードセキュリティシステム
E.I.N.	エンジン識別番号
EPA	環境保護局
LED	発光ダイオード
MAG	マグネトー
MPEM	マルチパーパスエレクトロニックモジュール
MPH	時速マイル
N.A.	適用なし
NA エンジン	自然吸気エンジン
O.T.A.S.	オフスロットルアシステッドステアリング
OPT	オプション
PFD	救命胴衣
P/N	部品番号
PTO	パワーテイクオフ
STD	規格
TBD	未定
TDC	上死点
T.O.P.S.	転覆時保護システム
VTS	可変トリムシステム

保証

北米

<p>USA (プエルトリコ以外)</p>	<p>BRP US Inc. 7575 Bombardier Court Wausau, WI. 54401 電話: (715) 848-4957 Fax: (715) 847-6879 www.brp.com</p>
<p>カナダ</p>	<p>BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. 75 J.A. Bombardier Sherbrooke, QC J1L 1W3 電話: (819) 566-3366 Fax: (819) 566-3062 www.brp.com</p>

あなたの Sea-Doo ウォータークラフトに保証整備が必要になった場合は、全国各地の Sea-Doo 認定ディーラーへウォータークラフトを持ち込んでいただきます。その際、あなたの保証登録カード、または最初の購入期日を証明できるものをご持参ください。保証に関してご質問または問題が生じた場合は、まず Sea-Doo 販売店のサービスマネージャーまたは店主にご連絡ください。

最寄の Sea-Doo 認定ディーラーは、次の電話でご案内します: 1 800 882-2900.

注記: カナダ、アメリカ合衆国以外の地域では、各地域の Sea-Doo 認定ディストリビューターにご連絡ください。

BRP 北米限定保証: 2006 SEA-DOO® 3D™ DI パーソナルウォータークラフト

1. 限定保証の適用範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下“BRP”とします)*は、以下に記述された期間について、下記の条件のもと、モデル年2006 Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトに素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

このSea-Doo パーソナル・ウォータークラフトが納入される際に、BRP 認定ディストリビューター/ディーラー（その定義は以下に示します）によって取り付けられたすべてのBRP 純正部品およびアクセサリーは、パーソナル・ウォータークラフト本体と同じ保証を受けるものとします。

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2. 保証適用期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のどちらか早い方から、以下の各期間にわたって有効とされます：

- 個人使用の所有者の場合は、連続する12ヶ月間。
- 業務用使用の所有者の場合は、連続する4ヶ月間。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。
- 上記に加えて、排出ガス制御を操作する排出ガス関連コンポーネント（下記のリストを参照）は、連続する24ヶ月間またはエンジン使用200時間のどちらか早い方の期間適用されます。

排出ガス関連コンポーネント：

スロットルポジションセンサー(TPS)
気温センサー (ATS)
気圧センサー (APS)

この保証によって行われる修理や部品の交換、または整備の実施により、当初の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

Sea-Doo パーソナル・ウォータークラフトはカリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図して製造されており、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はそれらの州の住民に登録されます。関係するカリフォルニア州およびニューヨーク州の排出ガス制御保証規定もご覧ください。

3. 保証の適用を受けるための条件

この保証は、その販売が行われた国においてSEA-DOO 製品の販売を許可されている BRP デイラー (以下“BRP デイラー”とします) から、最初のオーナーによって未使用の新品として購入された SEA-DOO パーソナル・ウォータークラフトで、さらに BRP 社指定の納入前点検プロセスが実施され、それが記録されたものにのみ適用されます。また、保証は BRP デイラーによってその製品が正しく登録された時点で有効になります。また、この保証を受けられるのは、パーソナル・ウォータークラフトが購入者が居住する国で購入された場合に限りです。上記の条件が満たされなければ、BRP はこの限定保証を如何なる個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対しても適用しません。このような制限は、BRP がその製品の安全性のみならず、消費者と一般の人々の安全も保護できるようにする上で必要なものです。

保証の有効性を維持するには、『オペレーターガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求め、権利を留保します。

4. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行う BRP デイラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものを BRP デイラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理 / 作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証によって交換された部品は、すべて BRP の所有物になります。

5. BRP が行うこと

この保証に基づく BRP の義務は、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の BRP 認定ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しい BRP 純正部品と交換することです。

BRP は、それ以前に製造された製品を改造する義務を負うことなく、随時製品を改良または変更する権利を留保します。

6. 除外規定

これらは保証されません

- 通常の磨耗および損耗；
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整；
- 『オペレーターズガイド』に記述されている適切なメンテナンスまたは保管を行わなかったことに起因する損傷；
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；
- 酷使、通常の用途以外での使用、不注意、または『オペレーターズガイド』に記述された推奨事項と異なる方法で製品を使用したことに起因する損傷；
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷；
- その製品での使用に適さない燃料、オイル、潤滑剤を使用しての運行（『オペレーターズガイド』を参照）；
- 水の吸入；
- 外装のゲルコート仕上げを含むがそれのみには限定されないゲルコート仕上げの損傷、プリスター（ふくれ）またはプリスターに起因するファイバークラスの層間剥離、ひび割れ、クモの巣状のひび；および
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失を含むがそれらのみには限定されないその種の損害。

7. 責任の限定

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。二次的または間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

BRP ディストリビューター、ディーラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

8. 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転がBRPに通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

- a) 旧所有者がBRPまたはBRP認定ディーラーへ連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせる；または、
- b) BRP またはBRP 認定ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

9. 消費者支援

このBRP 限定保証に関連して議論または論争が生じた場合、BRP はまず問題をディーラーレベルで解決すべく努力されることをお勧めします。その問題について認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

さらに支援が必要な場合は、問題の解決を図るためディストリビューターのサービス部門と連絡を取ってください。

カナダ

BOMBARDIER RECREATIONAL
PRODUCTS INC.

CONSUMER SERVICES GROUP
VALCOURT QC J0E 2L0
電話: (819) 566-3366

米国

BRP US INC.

CONSUMER SERVICES GROUP
7575 BOMBARDIER COURT
WAUSAU WI 54401
電話: (715) 848-4957

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc が行います。

© 2005 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc および子会社の登録商標および™ 登録商標です。

SEA-DOO® 3D™ DI パーソナル・ウォータークラフト 2006年モデルに対するカリフォルニア州および ニューヨーク州の排出ガス制御保証規定。

カリフォルニア州では、Sea-Doo 3D DI パーソナル・ウォータークラフトにはカリフォルニア大気資源委員会が規定した特別な環境ラベルを貼ります。ラベルには、1、2、3、4スターがあります。パーソナル・ウォータークラフトの品質表示票にはスター等級システムの意味が説明されています。

スターラベルは、クリーンな船舶用エンジンを意味します



F18L3CQ



クリーンな船舶用エンジンの記号：

クリーンな空気と水

より健康的なライフスタイルと環境。

燃料節約

従来の気化2ストロークエンジンと比べてガソリンとオイルの燃焼を30-40パーセント減らし、資金と資源を節約します。

排気ガス保証の延長

消費者が心配なく操業できるよう保護します。

1 スター - 超低排出

1スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2001年排気物質基準を満たしていることを示します。この基準を満たすエンジンは、従来の気化2ストロークエンジンより排気物質を75%削減します。これらのエンジンは、船舶用エンジンのU.S. EPAの2006基準と同等です。

2 スター - 超低排出

2スターラベルは、パーソナル・ウォータークラフト、船外、船尾、船内エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2004年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を20%削減します。

3 スター - 極超低排出

3スターラベルは、エンジンが大気資源委員会のパーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジン2008年排気物質基準または船尾と船内船舶用エンジン2003年排気物質基準を満たしていることを示します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を65%削減します。

4スター - スーパー極超低排出

4スターラベルは、エンジンが大気資源委員会の船尾と船内船舶用エンジン2009年排気物質基準を満たしていることを示します。パーソナル・ウォータークラフトと船外船舶用エンジンもこれらの基準に準拠します。これらの基準を満たすエンジンは、1スター-低排出エンジンより排気物質を90%削減します。

詳細：

クリーンなウォータークラフト-次で確認してください。

1 800 END-SMOG

www.arb.ca.gov

排出ガス制御保証権利と義務

カリフォルニア州大気資源委員会、ニューヨーク州環境保護局、およびBombardier Recreational Products Inc.を代表してBRP US Inc. (以下“BRP”)*は、2006年モデルSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御システム保証について説明いたします。カリフォルニア州とニューヨーク州では、新規のパーソナル・ウォータークラフトのエンジンを州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備しなければなりません。BRPは、貴方のパーソナル・ウォータークラフトを酷使、不注意、不適切なメンテナンスがない限り下記の期間パーソナル・ウォータークラフトのエンジンの排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、キャブレタまたは噴射装置、イグニッションシステム、触媒コンバータ等の部分が含まれます。またホース、ベルト、コネクタ、その他の排出関連のアクセサリーが含まれます。

保証可能な条件が存在する場合、BRPは、BRP認定ディーラーによってなされる場合に限り、診断、部品代および工賃を含めて、貴方のパーソナル・ウォータークラフトのエンジンを無償で修理します。

製造業者の限定補償範囲

この排出ガス保証は、カリフォルニア州またはニューヨーク州での販売を意図してBRPによって認証そして製造された2006年モデルSea-Dooパーソナル・ウォータークラフトに適用され、本来はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に販売され、その後保証はカリフォルニア州またはニューヨーク州の住民に登録されます。Sea-Dooパーソナル・ウォータークラフト用のBRP限定保証条件は、必要な変更を加えたこれらのモデルに適用可能です。

2006 Sea-Doo 3D DI パーソナル・ウォータークラフトの排出ガス制御パーツに関して、最初に購入した消費者に納入された日から4年間または250使用時間のうちどちらか先に訪れた保証時期を選択してください。しかし、時間に基づく保証適用は適切な時間メーターまたは同等品を装備したパーソナル・ウォータークラフトにのみ可能です。エンジンの排出関連の部品が異常な場合、保証の元にBRPが修理または交換します。

2006 Sea-Doo 3D DI パーソナル・ウォータークラフトで利用される部品:

燃料レール	燃料ライン	水温センサー (WTS)
レイバルブ	気圧レギュレータ	燃圧レギュレータ
リードバルブ	燃料ポンプ	燃料インジェクター
同調パイプ	シリンダヘッド	マルチパーパスエレクトロニックモジュール (MPEM)
高圧イグニッションワイヤ	スロットルポジションセンサー (TPS)	エアライン
電気ハーネス	イグニッションコイル	エキゾーストマニホールド
スロットルボディ	気温センサー (ATS)	エアボックスとフレームアレスタ
エキゾーストホース	気圧センサー (APS)	ガスケット関連のすべての排出コンポーネント；ヘッド、ベース、エキゾースト
スパークプラグ	クランクシャフトポジションセンサー (CPS)	エアインジェクター
エアコンプレッサー		

排出ガス保証は、保証部分の異常によって引き起こされる他のエンジンコンポーネントの損傷に適用されます。

BRP オペレーターガイドは、パーソナル・ウォータークラフトの正しいメンテナンスと使用に関する指示を記載しています。すべての排出ガス保証部品は、『オペレーターズガイド』のメンテナンスで要求されている部品交換を予定していない限り、パーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体で保証されます。

メンテナンスを必要とする、交換を予定している排出ガス保証部品は、部品の最初の交換予定日までの期間の間BRPにより保証されます。定期的な交換ではなく、通常点検を予定している排出ガス保証部品は、パーソナル・ウォータークラフトの保証期間全体でBRPにより保証されます。この保証規定の条項の元で修理または交換された排出ガス保証部品は、本来の部品の保証期間の残りの間BRPにより保証されます。この限定保証によって交換された部品は、すべてBRPの所有物になります。

メンテナンスの受け入れと記録は、パーソナル・ウォータークラフトの次の各所有者に移転されます。

所有者の保証責任

パーソナル・ウォータークラフトの所有者として、『オペレータズガイド』に記載の要求されているメンテナンスを実施する責任があります。パーソナル・ウォータークラフトのエンジンに関係する全受領書を保持することをBRPは推奨しますが、受領書の紛失またはすべての予定メンテナンスの不履行だけを理由にしてBRPは保証適用を拒否できません。

パーソナル・ウォータークラフトの所有者として、BRPが酷使、不注意、不適切なメンテナンス、不適切な改変によりパーソナル・ウォータークラフトのエンジンまたは部品に対する保証適用を拒否できることに留意してください。

問題が発生した場合、パーソナル・ウォータークラフトのエンジンをBRP認定ディーラーにできるだけ早く見せます。保証修理は、30日を超えない合理的な長さの期間内に完了します。

保証の権利と責任、または最寄のBRP認定ディーラーの名前と場所に関して質問がある場合、Consumer Services Groupまでお問い合わせください(1 (715) 848-4957)。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Incが行います。

© 2005 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc および子会社の登録商標および™ 登録商標です。

BRP 国際限定保証: 2006 SEA-DOO® 3D™ DI パーソナルウォータークラフト

1. 限定保証の適用範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下“BRP”とします)*は、以下に記述された期間について、2006年モデル Sea-Doo 3D DI パーソナル・ウォータークラフトに素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

このSea-Doo パーソナル・ウォータークラフトが納入される際に、BRP 認定ディストリビューター/ディーラー(その定義は以下に示します)によって取り付けられたすべてのBRP 純正部品およびアクセサリーは、パーソナル・ウォータークラフト本体と同じ保証を受けるものとします。

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2. 保証適用期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のどちらか早い方から、以下の各期間にわたって有効とされます:

- a) 個人がレクリエーション用途で使用する場合は連続する12カ月間。
- b) 業務用使用の場合は、連続する4ヶ月間。保証期間中の一部であっても、パーソナル・ウォータークラフトが収入の発生、何らかの業務または職業に関連して用いられた場合、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点でパーソナル・ウォータークラフトが商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、そのパーソナル・ウォータークラフトは商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によって行われる修理や部品の交換、または整備の実施により、当初の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

3. 保証の適用を受けるための条件

この保証は、その販売が行われた国においてSEA-DOO 製品の販売を許可されているBRP ディストリビューター/ディーラー(以下“BRP ディストリビューター/ディーラー”とします)から、最初のオーナーによって未使用の新品として購入されたSEA-DOO パーソナル・ウォータークラフトで、さらにBRP 社指定の納入前点検プロセスが実施され、それが記録されたもののみ適用されます。

また、保証はBRP ディストリビューター/ディーラーによってその製品が正しく登録された時点で有効になります。このような制限は、BRP がその製品の安全性のみならず、消費者と一般の人々の安全も保護できるようにする上で必要なものです。

保証の有効性を維持するには、『オペレーターガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

4. 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行うBRPディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをBRPディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証によって交換された部品は、すべてBRPの所有物になります。

5. BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、通常の使用、メンテナンス、および整備が行われたにもかかわらず故障した部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意のBRPディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により修理するかまたは新しいBRP純正部品と交換することです。

BRPは、それ以前に製造された製品を改造する義務を負うことなく、随時製品を改良または変更する権利を留保します。

6. 除外規定

これらは保証されません

- 通常の磨耗および損耗；
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整；
- 『オペレーターズガイド』に記述されている適切なメンテナンスまたは保管を行わなかったことに起因する損傷；
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、あるいはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、あるいは整備を行うBRP認定ディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；
- 酷使、通常の使用以外での使用、不注意、または『オペレーターズガイド』に記述された推奨事項と異なる方法で製品を使用したことに起因する損傷；
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷；
- その製品での使用に適さない燃料、オイル、潤滑剤を使用しての運行（『オペレーターズガイド』を参照）；
- 水の吸入；
- 外装のゲルコート仕上げを含むがそれのみには限定されないゲルコート仕上げの損傷、プリスター（ふくれ）またはプリスターに起因するファイバーグラスの層間剥離、ひび割れ、クモの巣状のひび；および
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失を含むがそれらのみに限定されないその種の損害。

7. 責任の限定

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。二次的または間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の管轄区域では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

BRP ディストリビューターまたはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

8. 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転が BRP に通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

BRP または BRP 認定ディストリビューター / ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。次にディストリビューターがこの情報を BRP に直接転送します。

9. 消費者支援

- a) この BRP 限定保証に関連して議論または論争が生じた場合、BRP はまず問題をディーラーレベルで解決すべく努力されることをお勧めします。その問題について認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。
- b) さらに必要な場合、解決のためにディストリビューターのサービス部門に連絡をとります。
- c)
- d) それでも問題が解決しない場合、下記の住所の BRP に連絡をとってください。

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

CUSTOMER SERVICES GROUP
VALCOURT QC J0E 2L0
電話.: 1 (819) 566-3366

© 2005 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc および子会社の登録商標および™ 登録商標です。

プライバシー保護に関する情報

あなたのご連絡先情報は安全性の確保と保証のために使わせていただきます。また、ときにはお客様のご連絡先情報を利用して、当社製品のご案内やご提供情報を送らせていただくことがあります。このような当社製品、サービス、ご提供に関する情報をお受け取りになりたくない場合は、下記まで書面にてお知らせください。

また、厳選された信頼のおける企業に対して、品質の高い製品とサービスの販売促進に役立てるため、お客様のご連絡先情報の利用を許可することがあります。あなたのお名前やご住所の開示を拒否される場合は、下記まで書面にてお知らせください。

Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec
カナダ
J1L 1W3
Fax 番号 (819) 566-3590

切手貼付



**Bombardier
Recreational Products Inc.**

WARRANTY DEPARTMENT
75, J.A. Bombardier
Sherbrooke, QC
Canada
J1L 1W3

V00A2G

ウォータークラフト モデル No. _____

船体識別番号 (H.I.N.) _____

エンジン識別番号 (E.I.N.) _____

所有者: _____

名前

No. _____

番地

アパート名

区市町村 _____

県

ZIP/郵便番号

購入日 _____

年

月

日

保証有効期限 _____

年

月

日

販売日に Sea-Doo 認定ディーラーが記入します。

ディーラー印欄

SEA-DOO ウォータークラフトが **BRP** で登録されていることを販売ディーラーに確認してください。

オペレーターズガイド

3D DI